

	<p>について分析のための前処理を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産部産学官技術会議(7月) ・ものづくりカイゼン塾「マーケティングと商品開発セミナー(2日目)」実施(7/15、) ・全国食品関係試験研究場所長会 役員会(11/1) ・日野農業改良普及所による地大豆の成分比較に関する糖分析、タンパク分析、イソフラボン含量分析などを支援(1月) ・(財)きのこセンター菌茸研究所からの全自動アミノ酸分析計の利用への対応 <p>◎畜産関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(独)家畜改良センターからの全自動アミノ酸分析計の利用への対応(11月) ・畜産試験場の和牛肉高品質化研究について味覚センサーを用いて支援 <p>◎中小家畜試験場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豚肉物性測定を支援(6月) ・ルテインを含む飼料の給餌による効果確認のための分析、抗酸化性評価の支援(8月) ・ルテインを含む飼料を給餌した卵、鶏肉中のルテイン含量分析の支援(11月) ・クリープメーターによる豚肉の物性評価について支援(2月) <p>◎衛生環境研究所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサリの有機酸分析を支援(4月) ・ブラウン菅ガラスリサイクルに関するX線回折分析を支援(6月、8月、12月、3月) ・有機酸分析の支援(1月) <p>◎栽培漁業センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラックバスならびにブルーギルを原料とした魚醤油をサンプルとして提供。豊かな海づくり大会で展示(栽培漁業センター)(10月) ・栽培漁業センターによる海藻成分の分析を支援(1月) ・水産試験場のスラリーアイスによる黒変防止試験を支援(6月)
<p>地域ブランドの育成のための技術支援の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伯州和紙の開発(財団法人境港市農業公社) 伯州綿の木の茎から和紙を製造する方法について検討した結果を現地技術者に指導した。また、現場での工房の整備についても主体的に援助した。さらに、和紙デザイナー堀木エリ子氏とともに伯州和紙の「ランチョンマット&割り箸セット」(1セットはランチョンマット6枚、割り箸6膳:5千円)を商品化し、日本橋三越でのイベントで(11月)で50セット販売し、3日間で完売した。 ・マグロからすみ(株式会社島谷水産、ペペネーロ、株式会社ダイヤモンド、有限会社田手水産) 普及講習会(5/23)にて製造方法を紹介。興味を示した企業のうち、最終的に島谷水産が製造、販売を開始するに至った。 ・マグロ魚醤油(株式会社丸綜) マグロ魚醤油製造技術の支援により製品が完成。1月20日に知事表敬、1月26日に製品発表会が行われ、平成24年4月より販売開始 ・パンフレット及びPR用DVDへの名義使用申請許可(株式会社丸綜) マグロ醤油の販売宣伝用のパンフレットに産業技術センターの名義使用を認めるとともに、DVDに出演し、マグロ醤油の特徴などを説明した。 ・マグロ内臓の利用(味処美佐、海王) マグロの内臓を使った塩辛の製造方法や評価方法などについてアドバイス。料理店で提供するようになった。平成23年度は加工業者を探すも製造者が見つからなかったが、引き続き平成24年度に向けて業者を探している。 ・まぐろ感謝祭にパネル展示(山陰施網漁業協同組合) 平成23年より開始されたまぐろ感謝祭(7/3)にマグロの冷凍技術、からすみ、魚醤油の製造法のパネルを展示した。 ・大山スイカと一般栽培品種との成分特性比較による特徴評価の支援(鳥取県立倉吉農業高校) ラグビーボール型の形状をした在来の大山スイカは、糖度は低くても美味しいと

	<p>言われており、一般的な栽培品種と成分を比較して、特長を把握し、大山スイカの生産量を増やして地域ブランドを目指すための支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回こだわり物産 商品開発委員会(11/14) ・旬の魚を食べる会(境港市の水産関係者らで組織する会)でハタハタステーキを紹介し好評を得た。
<p>その他の 機関の連 携による 新技術情 報の情報 発信の取 組状況</p>	<p>◎情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャパン・インターナショナル・シーフードショーでカニ煮汁の濃縮技術特許のパネル展示(7月、東京海洋大学、食品技術科) ・ものづくり分野の人材育成・確保事業「加工技能・計測技術応用講座」液晶人材講師の派遣(8/11、生産システム科) ・米子高専「企業技術者等活用プログラム」講義への講師派遣(11/15、1/11、1/13、無機材料科)、講師派遣(2/10、応用生物科) ・広域連携事業によるしまね産業振興財団、鳥取県産業振興機構と連携した第1回機能性食品産業化セミナーの開催(11/22、松江市、応用生物科) ・日本機械学会中国四国支部 第114回講習会「エネルギーの現状と将来」への講師派遣(1/20、機械素材研究所) <p>◎講習会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取環境大学環境マネジメント学科での講義(12/16、環境大学、有機材料科) ・第1回及び第2回「次世代自動車関連技術講演会・報告会」での出前県立図書館開催支援(7/1・4、2/16、機械素材研究所) ・「小中学生のためのオープンラボ」(7/30 電子・有機素材研究所)での出前県立図書館 ・機械計測技術コースの講師(9/29・30、生産システム科) ・製品設計シミュレーションの講師(10/3、生産システム科) <p>◎酒造関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県酒造大学講座への講師派遣(8/4、発酵生産科) ・出雲杜氏夏期酒造講習会への講師派遣(9/5、発酵生産科) ・広島国税局清酒鑑評会への審査員派遣(10/11-13、発酵生産科) ・市販酒研究会への講師派遣(10/28、発酵生産科) ・鳥取県酒造講話会への講師派遣(12/6、発酵生産科) ・広島国税局全国市販酒類調査への品質評価員派遣(3/6-8、発酵生産科) ・伯耆町どぶろくフォーラムへの講師派遣(3/24、発酵生産科)
<p>県や他の 産業支援 機関が主 催する会 議等への 参加状況 及び補助 金情報の 入手状況</p>	<p>◎会議などへの職員の派遣</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 西部農商工コラボ定例会(4/21)、22 東部農商工コラボ会議(6/24) 2 西部地区こらぼネット定例会(6/16) 3 中部地区農商工連携販路開拓セミナー・個別相談会(2/29) 4 とっとり農商工こらぼ研究コンソーシアム農林水産物加工促進部会(5/10、10/27) 5 とっとり農商工こらぼ事例発表会(2/9) 6 第一回鳥取県農医連携促進事業関係者会議(11/4) 7 医農連携促進セミナー(2/6) 8 第2回美容・健康商品創出支援プロジェクトチーム会議(10/27) 9 LED戦略研究会 10 中部産学官連携会議(6/6) 11 鳥取県総合特区フォーラムへの出席(11/10) 12 地域イノベーション研究推進会議(8/23) 13 県道照明LED化に関する県内企業との意見交換会(12/1) 14 企業支援専門家会議出席(2/28) 15 産学官連携新産業創出研究会(1/26、鳥取大学) 16 経営改善プロフェッショナルチーム事業に関する第2回会議(1/18) 17 いなばのジビエ連絡協議会設立に向けた意見交換会(3/15) 18 日本海水産資源研究会(3/8)

	<p>19 平成23年度産業技術連携推進会議中国地域部会・四国地域部会合同「環境・エネルギー技術分科会」(3/15-16)</p> <p>◎その他</p> <p>1 「素形材産業高度化支援事業」(平成23年6月県補正事業)に係る情報入手</p> <p>2 生産設備の投資に対する補助金制度について情報を入手(県6次産業化、国6次産業化、企業立地補助金)</p> <p>3 平成23年度食品試験研究推進会議にて情報収集(2/23-24、つくば)</p>
関係企業への補助金情報の提供、対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 生産設備の投資に対する補助金はないかとの相談を受け、県6次産業化、国6次産業化、企業立地促進資金融資制度要綱や鳥取県の新たな設備投資支援制度について情報提供 未利用資源事業部の独立・創業に向けた情報を入手し、とっとり発ベンチャー企業補助金などの情報提供 カニ由来アスタキサンチン食品の開発を目指して、次世代・地域資源産業育成事業への提案を計画されており、計画書案の作成、共同研究についての調整などを支援 経営革新計画申請において、米保存箱の開発と評価に関する試験計画立案の支援を行い承認 マイタケエキス工場の移転等検討に、企業立地促進資金融資制度要綱や鳥取県の新たな設備投資支援制度について資料提供 県補助金「ものづくり事業化応援補助金」への申請に係るアドバイス 「鳥取県リサイクル技術・製品実用化事業補助金」の情報提供 環境対策設備導入補助金(商工労働部)の情報提供 県「素形材産業高度化支援事業」(平成23年6月補正事業)に係る情報提供 野菜の乾燥粉末化に関する補助金申請を支援 鳥取県農商工連携促進ファンドの応募を支援 商工政策課所管「素形材技術高度化支援事業」第3次募集(募集期間 11月11日まで)を関係企業に案内周知 食の安全・安心プロジェクト推進事業補助金の企業への募集案内(鳥取県商工労働部事業)の企業への募集案内送付 食の安全・安心プロジェクト推進事業補助金の申請検討企業への支援 カーボン面状発熱体を用いた融雪装置の開発を目指して、関係企業が集まり検討会議を実施し、県ものづくり補助金(事業調査支援型、事業化実現型)を紹介 企業、米子高専の共同体による産業振興機構研究補助制度申請を支援
トータルな支援状況	P59「(29)産学金官の連携による企業支援の状況」を参照

(16) 広報活動の状況

① 技術情報、サービス情報等の提供状況(ホームページ、パンフレット、研究報告)

ホームページや各種媒体を活用した広報活動状況	<p>◎ホームページでの広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代ものづくり人材育成講座募集の案内(5/6、生産システム科) 境港産クロマグロを使用したポットルガ(からすみ)及びマグロ醤油製造技術情報公開講習会(5/13、食品技術科) 「県内企業の活性化使命 鳥取県産業技術センター」日刊工業新聞特集(5/26) 小学生のための科学教室開催の案内(7/15 電子・有機素材研究所、7/7 機械素材研究所、7/16 食品開発研究所) 「食の安全安心プロジェクト事業ワンストップ相談窓口開所式及び講演会の開催」(8/1、食品技術科) 「解体自動車展示」(9/13、生産システム科) 「自動車機能別(モジュール単位)講習会」(9/27、生産システム科) 平成23年度デザイン力強化セミナー「商品企画力向上セミナー+地域ブランドシ
------------------------	---

	<p>ンポジウム」の案内(10/26、産業デザイン科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「表面加飾作製装置」機器導入技術講習会の開催についての案内(10/27、デザイン) ・食品衛生管理技術研修会(初級)開催(10/25)の案内(10/5、食品技術科) ・食の安全・安心プロジェクト推進事業補助金(鳥取県商工労働部事業)の募集案内(10/17、食品技術科) ・「LED照明技術講習会」の開催について(10/3、応用電子科) ・「LED熱設計講習会」の開催について(10/7、応用電子科) ・「LED照明デザイン講習会」の開催について(11/4、応用電子科) ・「LED安全性規格講習会」の開催について(12/9、応用電子科) ・「LED道路照明基準講習会」の開催について(1/30、応用電子科) ・「LED照明標準化講習会」の開催について(3/1、応用電子科) <p>◎ポスター、パンフレットによる広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究員紹介パネルをエントランスに掲示 ・企業訪問時にパンフレット、人材育成事業チラシにより説明を実施 ・初めて訪問する企業へパンフレットを持参し提供、機器利用を始めとするセンターの提供する各種サービス内容を紹介 <p>◎ホームページトピックス 22件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村江理事長のあいさつを掲載しました ・起業化支援室の使用料引き下げ24年3月まで継続しています ・東北地方太平洋沖地震の情報サイト ・境産産クロマグロを使用したボツタルガ(からすみ)、マグロ醤油製造技術情報公開講習会を開催します ・鳥取環境大学学生等に見学いただきました ・「次世代自動車関連技術講演会・報告会」を開催しました ・開催します!「小中学生のためのオープンラボ」(電子・有機素材研究所)、「小学生のための科学教室」(食品開発研究所)7月30日、「小学生のための科学教室」(機械素材研究所)8月6日 ・食の安全・安心対応 ワンストップ相談窓口開所式及び事業説明会のご案内 ・来年度センターで整備する機器について皆様からのアンケートを行っています。 ・株式会社DSコーポレーションの事業説明会について ・「とっとり産業フェスティバル2011」&「鳥取環境ビジネス交流会2011」について ・産総研オープンラボのご案内 ・「ハイブリッド自動車の部品展示」について(ご案内) ・「電装技術・モータの開発に向けて」講習会を開催しました ・食品の衛生管理技術研修会の開催について ・食の安全・安心プロジェクト推進事業補助金の募集を開始します ・株式会社ゼンヤクノ一様から感謝状と寄付金をいただきました ・平成23年度導入装置(財団法人JKA)補助事業導入装置の紹介 ・国立米子高専 鳥取オフィスの開設 ・米子工業高等専門学校の専攻科学生がハイブリッド自動車部品を見学されました ・【参加者募集中!!】情報収集・活用力養成講座(企業編) ・「スペース・サイエンス・ワールドinとっとり」開催のお知らせ ・実践的産業人材育成事業の修了証授与式&成果発表会(機械素材研究所)を3月22日開催しました。
<p>各種メディア(新聞、TV、地域誌等)を活用した情報の提供状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中海テレビ放送「産業技術ホット情報」での情報提供(12テーマ) ・「食品開発と健康に関する研究会」水産物加工分科会会員のメーリングリストで食の安全安心相談窓口開所式を案内(7/28) ・海産物のきむらや、キムラファンクショナルフーズより名義使用の申請(インフォーマーシャルビデオ用)(8月) ・豊かな海づくり大会のオープニングで使用する映像の取材への協力要請があり、水産加工品の新技術関連として、キッチン・キトサン、グルコサミンとフィッシュコラーゲンに関連した研究に関する取材に協力

	<ul style="list-style-type: none"> ・寿製菓より栃の実茶のTVCMに関連してセンター名義使用の申請（11月） ・サワラ加工マニュアルについてメーリングリストにて情報提供したところ、5企業より要請があり資料を送付（3月） ・農商工こらぼ研究コンソーシアムメーリングリストを使い機能性食品事業化戦略研究会、機能性食品産業化セミナーの開催などの情報を関係者に提供 ・「食品開発と健康に関する研究会」の機能性食品開発分科会メンバーに機能性食品事業化戦略研究会、機能性食品産業化セミナーの開催情報をメールで提供
各種団体が行うイベント等への参加状況	<ul style="list-style-type: none"> ・まぐろ感謝祭に「マグロの冷凍技術」、「マグロの内臓利用」のパネルを展示（7/3）（主催：境港天然本マグロPR推進協議会） ・「資源の循環利用を考えるシンポジウム」にて発表（8/9）（主催：鳥取県衛生環境研究所） ・平成23年度機能性食品研究交流会への参加（9/9、広島）（主催：（公財）ちゅうごく産業創造センター） ・「豊かな海づくり大会」での食品開発研究所の食品研究（ビデオ）並びに魚醤の展示（10/29・30）（主催：豊かな海づくり大会推進委員会） ・中海ものづくりフェアでのパネル展示及び説明派遣（「サワラ煮干し」）（11/18・19）（主催：中海圏域産業技術展実行委員会） ・第114回講習会「エネルギー技術の現状と将来」（1/20、鳥取大学）（主催：日本機械学会中国四国支部、協賛：鳥取大学、鳥取県、産業技術センター、日本設計工学会中国支部） ・素人きき酒鳥取県大会の審査官（4/16）（主催：鳥取県酒造組合） ・スペース・サイエンス・ワールド in とっとりへの対応（2/25・26、倉吉未来中心）（主催：鳥取県、岡山大学との共催） ・「伯耆町どぶろくフォーラム」に講師派遣（3/24）（主催：（株）上代） ・SIM-Drive 2号車発表会（3/28、東京プリンスホテル）への派遣（主催：（株）SIM-Drive）
センターのサービス内容の周知や利用の拡大に係る取組の内容と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの紹介、サービス内容の紹介を企業訪問講習において実施（1/20） ・パンフレットを県総合事務所、県外本部事務所、金融機関等の窓口に着用し、また各種会議、鳥取県人会等のイベントで配布 ・鳥取市企業立地ガイドブックにセンターを紹介するなど、行政広報への情報提供 ・ホームページにセンターの技術講習会等の情報を積極的に提供し、特に、企業利用の多い試験機器のページは、機器ごとに写真、概要及び主な仕様を掲示し利便性を向上 ・メールマガジンを発行し、サービス内容等の広報活動を実施（1～2回/月発行、送信アドレス数：約500アドレス） ・鳥取県企業の社員教育のためのセミナー・研修・講座・イベント情報は、産業人材育成支援の検索サイト《とっとりステップ》で情報提供 ・鳥取総合分析研究懇談会第14回講演会にて業務概要・取組事例を紹介「材料評価に関する機械素材研究所の取り組み」（1/21、鳥取大学）

② 研究発表等の状況

電子・有機素材研究所	<ul style="list-style-type: none"> ◎論文発表 <ul style="list-style-type: none"> ・食品工業12月30日号「シトルリン高含有スイカ酢の製造」（発酵生産科） ◎口頭発表 <ul style="list-style-type: none"> ・第60回高分子年次大会「和紙から生成した多孔性炭素紙の構造と燃料電池電極機能」（5/26、大阪市、有機材料科） ・山陰（鳥取・島根）発新技術説明会「シトルリン高含有スイカ酒及びスイカ酢の製造方法」（7/8、東京都、発酵生産科） ・山陰発技術シーズ発表会 in とっとり2011「シトルリン高含有スイカ酒及びスイカ酢の製造方法」（8/26、鳥取市、発酵生産科） ・第25回キチン・キトサン・シンポジウム「ヒト表皮細胞のヒアルロン酸産生に及
------------	--

	<p>ぼす疎水性基を導入したグルコサミン誘導体の影響」(8/30、奈良市、有機材料科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学工学会秋季大会「環境応答型マイクロカプセルを用いた抗菌性紙の開発」(9/15、名古屋市、有機材料科) ・日本木材学会中国・四国支部研究発表会「圧密化木材の室内養生時の含水率変化」(9/26、広島市、有機材料科) ・とっとり産業フェスティバル2011(とっとりネットワークシステム(TNS)合同発表会)「LED照明応用研究会の活動について」(8/26、鳥取市、応用電子科) <p>◎ポスター発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・The 7th Asia-Pacific Drying Conference「FORMATION OF POLYMER-COATED INCLUSION COMPLEX OF d-LIMONENE AND β-CYCLODEXTRIN BY SPRAY DRYING」(9/19、中国天津市、有機材料科) ・第52回真空に関する連合講演会「BaTiO₃薄膜の自立化に伴う特性変化」(11/17、東京都、応用電子科) ・とっとり産業フェスティバル2011研究発表会(8/26-27、鳥取市)「産業技術センターが行うLED/太陽光関連製品開発支援の取り組み」(応用電子科) 「キッチン・キトサンの新規漂白方法について」(有機材料科) 「シトルリン高含有スイカ酒及びスイカ酢の製造方法」(発酵生産科) 「因州和紙から作製したカーボンペーパー」(有機材料科) 「圧密化木材を用いた木製品開発」(有機材料科) 「キトサン複合体の合成」(有機材料科)
<p>機械素材 研究所</p>	<p>◎口頭発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(社)日本塑性加工学会 鍛造分科会 研究班集会「実用据込み加工圧力計算プログラムの試作」(6/14、群馬県、生産システム科) ・第76回レーザー加工学会「冷却ノズル利用による脆性材料のレーザー切断加工」(12/6、東京都、生産システム科) ・日本機械学会「第114回講習会 エネルギー技術の現状と将来」において「鳥取県におけるマイクロ水力発電装置の開発概要」(1/20、鳥取大学、機械素材研究所) ・鳥取大学公開セミナー「地域資源の再発見 ため池を利用したマイクロ水力発電導入の可能性」において「鳥取県産業技術センターのマイクロ水力発電装置の紹介」(2/17、鳥取市、生産システム科) ・精密工学会春季大会「プリント基板穴加工用補助材の開発」(3/15、東京都、生産システム科) <p>◎ポスター発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車解体展示準備(ポスター・パネルの作成等) ・とっとり産業フェスティバル2011研究発表会(8/26-27、鳥取市) 「硬質皮膜のコーティング技術に関する研究」(無機材料科) 「中山間地におけるマイクロ水力発電の実証試験」(生産システム科) 「スキヤニング測定による測定精度向上に関する研究」(生産システム科)
<p>食品開発 研究所</p>	<p>◎論文発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フィッシュコラーゲンペプチドがコンニャクグルコマンナン-κ-カラギーナン混合ゲルのテクスチャーに及ぼす影響」、日本食品科学工学会誌、58、252-258(2011)。(食品技術科) <p>◎口頭発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境産産クロマグロを使用したボツタルガ(からすみ)及びマグロ醤油製造技術情報公開講習会「クロマグロ醤油の製造技術について」(5/23、境港市 食品技術科) ・第2回北東アジア産業技術フォーラム「鳥取県における農産物加工」(7/6、中国吉林省長春市 食品技術科) ・環境フェスティバル「カニ煮汁の濃縮技術」(8/9、鳥取市、食品技術科) ・水産物利用担当者全国会議「サワラ煮干しの開発」(11/15、横浜市、食品技術科) ・平成23年度近畿中国四国農業試験研究推進会議作物生産推進部会 食品流通問題別研究会「ウメ凍結果実の加熱解凍による褐変抑制技術とその応用」(12/1、香川県小豆島、食品技術科)

	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県食品産業協議会 平成23年度 第2回講演会「ウメ凍結果実の加熱解凍による褐変抑制技術とその応用」(1/27、米子市、食品技術科) ・「地域特産物を活用した加工品開発」アスパル加工食品講習会(2/2、米子市、食品技術科) ・魚肉大型成型化に関する成果普及講習会(3/6、境港市、食品技術科) ・第9回食品開発と健康に関する研究会「ウメ凍結果実の加熱解凍による褐変抑制技術とその応用」(3/7、米子市、食品技術科) ・食品開発と健康に関する研究会での活動事例発表(TNS全体会)(3/13、鳥取市、食品技術科) <p>◎ポスター発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリビジネス創出フェア2011において「サワラ(サゴシ)煮干しの開発」ポスター発表(11/30-12/2、鳥取市、食品技術科) ・とっとり産業フェスティバル2011研究発表会(8/26-27、鳥取市)「サワラ(サゴシ)煮干しの開発」(食品技術科) 「鳥取ブランド純米酒の開発」(応用生物科) 「抗酸化測定技術とその応用」(応用生物科) 																												
企画室	<p>◎ポスター発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とっとり産業フェスティバル2011研究発表会(8/26-27、鳥取市)「お気軽にご相談ください! 産業技術センターの試験機器」(企画室) 「是非、活用してください! 産業技術センターの特許」(企画室) 「地方独立行政法人鳥取県産業技術センターをご利用ください」(企画室) 																												
センター研究報告	<p>センター研究報告 2011 掲載テーマ一覧 (研究論文2報、技術レポート5報)</p> <table border="1" data-bbox="395 958 1428 1406"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>タイトル</th> <th>科</th> <th>筆頭著者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">研究論文</td> <td>イオンプレーティング硬質皮膜の多層化による密着性の改善</td> <td>無機材料</td> <td>今岡睦明</td> </tr> <tr> <td>サワラ加工製品の開発</td> <td>食品技術</td> <td>加藤 愛</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">技術レポート</td> <td>高比重圧密化木材の寸法安定性</td> <td>有機材料</td> <td>谷岡晃和</td> </tr> <tr> <td>高流動性キトサン-ケイ酸複合体の調製</td> <td>有機材料</td> <td>寺田直文</td> </tr> <tr> <td>シトルリン高含有スイカ酢の開発と機能性</td> <td>発酵生産</td> <td>西尾 昭</td> </tr> <tr> <td>形状測定機の精度評価法検証実験</td> <td>生産システム</td> <td>木村勝典</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マイクロ水力発電システムの開発(第3報)-試作3号機の実証試験-</td> <td>生産システム</td> <td>野嶋賢吾</td> </tr> </tbody> </table> <p>研究論文 : 産業技術に関して新規性を有し、価値ある結論あるいは事実を含むもの。 技術レポート : 産業技術に関する試験、調査などで、価値あるデータ、結論の記載のあるもの。新規導入機器の利用事例や企業と一緒にいった試験分析の結果なども掲載可。</p>	区分	タイトル	科	筆頭著者	研究論文	イオンプレーティング硬質皮膜の多層化による密着性の改善	無機材料	今岡睦明	サワラ加工製品の開発	食品技術	加藤 愛	技術レポート	高比重圧密化木材の寸法安定性	有機材料	谷岡晃和	高流動性キトサン-ケイ酸複合体の調製	有機材料	寺田直文	シトルリン高含有スイカ酢の開発と機能性	発酵生産	西尾 昭	形状測定機の精度評価法検証実験	生産システム	木村勝典		マイクロ水力発電システムの開発(第3報)-試作3号機の実証試験-	生産システム	野嶋賢吾
区分	タイトル	科	筆頭著者																										
研究論文	イオンプレーティング硬質皮膜の多層化による密着性の改善	無機材料	今岡睦明																										
	サワラ加工製品の開発	食品技術	加藤 愛																										
技術レポート	高比重圧密化木材の寸法安定性	有機材料	谷岡晃和																										
	高流動性キトサン-ケイ酸複合体の調製	有機材料	寺田直文																										
	シトルリン高含有スイカ酢の開発と機能性	発酵生産	西尾 昭																										
	形状測定機の精度評価法検証実験	生産システム	木村勝典																										
	マイクロ水力発電システムの開発(第3報)-試作3号機の実証試験-	生産システム	野嶋賢吾																										
研究発表に対する表彰等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中国天津市、乾燥技術に関する国際学会(The 7th Asia-Pacific Drying Conference)でベストポスター賞を受賞(電子・有機素材研究所有機材料科山本主任研究員) ・2011年度環境科学会の論文賞を受賞(企画管理部立花研究員) 																												

(17) プレスリリースの数値目標の達成状況

① プレスリリースの状況：50件（年度目標約20件 達成率250%）

番号	資料提供日	タイトル	施設別			
			全体	鳥取	米子	境港
1	平成23年4月22日	産業技術センターの東日本大震災支援について	●			
2	4月22日	「中国地域産総研技術セミナーin鳥取」の開催について		●		
3	4月26日	鳥取県産業技術センターの伯州和紙開発支援について		●		
4	5月13日	境港産クロマグロを使用したポツタルガ（からすみ）及びマグロ醤油製造技術情報公開講習会の開催について				●
5	5月18日	産業技術センターの東日本大震災支援について【工業製品の放射線測定の実施（無料）】	●			
6	6月7日	「大型シャッターガード」の第一号機設置について	●			
7	6月13日	「次世代自動車関連技術講演会・報告会」の開催について			●	
8	6月27日	産業技術センターの研究員が環境科学会の「論文賞」を受賞	●			
9	7月1日	「山陰（鳥取・島根）発新技術説明会」開催について	●			
10	7月1日	「第2回北東アジア産業技術フォーラム」開催について	●			
11	7月7日	「小学生のための科学教室」の開催について	●			
12	7月7日	「レーザー加工機によるガラス切断技術の開発」に成功し特許を取得 ガラス切断の公開実験を行います			●	
13	7月8日	「小学生のための科学教室」の開催について				●
14	7月19日	鳥取大学教職員の視察受入れについて	●			
15	8月2日	食の安全・安心プロジェクト推進事業「食の安全・安心対応 ワンストップ相談窓口」開所式及び事業説明会の開催について				●
16	8月30日	「ラマン分光法セミナー」の開催について		●		
17	8月30日	株式会社スギゴコチ「第5回キッズデザイン賞」受賞について		●		
18	9月6日	テクノステージ和泉まちづくり協議会の視察について	●			
19	9月13日	「ハイブリッド自動車の部品展示」について			●	
20	9月15日	工業製品の放射線測定の実施（延長）について	●			
21	9月16日	「LED照明技術講習会」の開催について		●		
22	9月27日	「自動車機能別(モジュール単位)講習会」について			●	
23	9月27日	LED熱設計講習会の開催について		●		
24	10月11日	「食品の衛生管理技術研修会(初級編)」の開催について				●
25	10月11日	県立鳥取東高校の施設見学受入れについて		●		
26	10月14日	国際学会(The 7th Asia-Pacific Drying Conference)で「ベストポスター賞」を受賞!!		●		
27	10月25日	「非接触計測技術講習会及び研究会」の開催について			●	
28	10月25日	LEDデザイン講習会の開催について		●		
29	10月25日	「伯州和紙の商品化」について	●			
30	11月2日	「表面加飾作製装置」機器導入技術講習会の開催について		●		
31	11月2日	「商品企画力向上セミナー+地域ブランドシンポジウム」の開催について		●		
32	11月4日	産業技術センターの感謝状受贈について		●		
33	11月15日	「自動車整備の専門家から学ぶ エンジン・トランスミッ			●	

		ション分解説明会」の開催について				
34	11月29日	LED安全性規格講習会の開催について		●		
35	11月29日	「国立米子高専 鳥取オフィス」の開設について	●			
36	12月26日	「LED道路照明基準講習会 ～LED照明の普及に向けて～」の開催について		●		
37	平成24年 1月6日	「食品の衛生管理技術研修会(中級編)」の開催について				●
38	1月18日	「境港産マグロの内臓を活用した魚醤の商品化」について				●
39	1月19日	講習会「エネルギー技術の現状と将来」の開催	●			
40	2月9日	「第2回次世代自動車関連技術講演会・報告会」について			●	
41	2月22日	LED照明標準化講習会の開催について		●		
42	2月24日	第6回「新しい食品加工技術の勉強会」及び「平成23年度食品開発と健康に関する研究会水産物加工分科会」の開催について				●
43	2月24日	「小型魚肉の高付加価値化をめざした電氣的処理・可食性接着剤による大型成型化」技術普及講習会の開催について				●
44	2月24日	「食品の生管理技術研修会(上級編)」の開催について				●
45	2月27日	「放射線・放射能の基礎と測定の実際」冊子発行(中小企業対象 無料配布)について	●			
46	2月27日	産業技術センターの職員が「地域技術貢献賞」と「研究奨励賞」を受賞	●			
47	3月1日	第9回食品開発と健康に関する研究会の開催について				●
48	3月8日	「次世代ものづくり人材育成技術セミナー」の開催について			●	
49	3月8日	地域環境・資源リサイクル技術セミナーの開催について			●	
50	3月30日	産業技術センター平成24年度の組織体制について	●			
計			16	15	9	10

②新聞等の刊行物やマスコミ等での掲載実績

番号	日付	新聞、雑誌	タイトル	全体	鳥取	米子	境港
1	4月2日	日本海新聞	新日本海新聞社 H23. 4. 1 来社挨拶	●			
2	4月4日	日本海新聞	県産技センターにカンダ技工から感謝状				●
3	4月5日	日本海新聞	新日本海新聞社 H23. 4. 4 来社	●			
4	4月6日	日本海新聞	新日本海新聞社 H23. 4. 5 来社	●			
5	4月8日	日本海新聞	新日本海新聞社 H23. 4. 7 来社	●			
6	4月12日	山陰経済ウィークリー	さんいん企業物語 澤井珈琲2	●			
7	4月27日	朝日新聞	収穫後の茎から和紙 伯州綿 県産技センターなど開発		●		
8	4月27日	日本海新聞	伯州綿から和紙を試作 県産技センターが成功		●		
9	4月27日	読売新聞	伯州綿 茎から和紙 境港市 ブランド化へ		●		
10	4月27日	山陰中央新報	伯州和紙 試作に成功 綿花収穫した木から		●		

11	5月9日	毎日新聞	綿の茎から「伯州和紙」 境港市と産技センターが試作		●		
12	5月11日	日本海新聞	鳥取県 震災対策事業固まる	●			
13	5月11日	山陰中央新報	鳥取県 災害時の業務継続計画策定へ	●			
14	5月12日	日本海新聞	工業製品の放射線検査 県、20日から3市で開始	●			
15	5月22日	日本海新聞	マグロ醤油の製法公開 県産業技術センター				●
16	5月26日	日刊工業新聞	県内企業の活性化使命 鳥取県産業技術センター	●			
17	5月27日	読売新聞	境港のクロマグロPR からすみ・醤油開発 講習会開催				●
18	5月28日	山陰中央新報	マグロ活用 県産技センターで 醤油、からすみ製法講習会				●
19	5月29日	日本海新聞	クロマグロ からすみ、醤油 特産品化へ境港の挑戦				●
20	6月2日	山陰中央新報	境港クロマグロ漁始まる 資源の枯渇関係者懸念				●
21	6月14日	山陰経済ウィークリー	丸綜 マグロの魚醬で刺し身				●
22	6月15日	CIIC会報	平成22年度中国地域公設試験研究機関功績者表彰及び調査報告会を開催		●		
23	6月29日	平成23年度版鳥取市企業立地ガイド	鳥取市の学術・技術情報	●			
24	5月	とっとり県政だより5月号	次代を担う自然エネルギー			●	
25	7月1日	日本海新聞	電子デバイスのジーニア&アーレイ 鳥取市に進出	●			
26	7月1日	山陰中央新報	東京のジーニア社 鳥取市に子会社設立	●			
27	7月1日	毎日新聞	東京の電子機器会社、鳥取に進出	●			
28	7月5日	読売新聞	LED企業 鳥取市に進出	●			
29	7月7日	山陰中央新報	自社製品売り込みに熱 鳥取の企業・大学 大和ハウスと商談			●	
30	7月8日	日本海新聞	連携が可能性広げる鍵 伯州綿から和紙		●		
31	7月10日	日本海新聞	県内企業が技術をPR 大和ハウス商談会	●			
32	7月14日	日本海新聞	自然エネルギー先進県を目指して② 水力・マイクロ水力発電			●	
33	7月15日	山陰中央新報	鳥取県産業技術センター コンバートEV制作			●	
34	7月15日	読売新聞	スイカで酢・酒の醸造に成功 県技術センター		●		
35	7月23日	日本海新聞	小学生のための科学教室参加者（食品開発研究所）				●
36	7月26日	山陰経済ウィークリー	炭酸レーザーでガラスでも自在に切断			●	
37	7月26日	山陰経済ウィークリー	高電圧に耐え得る電線や軽量減速機需要が拡大			●	

38	7月27日	日本海新聞	マグロの内臓で食品開発 無駄なく使う姿勢を				●
39	7月31日	山陰中央新報	身近な食品使い実験 小学生ら科学教室				●
40	8月2日	山陰経済ウィークリー	さんいん企業物語 氷温研究所				●
41	8月3日	健康食品新聞	スイカから生まれた発酵食品実用化へ 鳥取県産技センター		●		
42	8月5日	山陰中央新報	HV車構造に熱い視線 70人参加し解体研修会				●
43	8月5日	山陰中央新報	内蔵の活用で付加価値 マグロ漁				●
44	8月8日	日本海新聞	ハイブリッド自動車 分解解体熱心に研修 米子				●
45	8月8日	レーザー新報	レーザーによるガラス切断加工の特許を取得 液晶ガラス切断等への応用に期待				●
46	8月9日	日本海新聞	食の安全・安心ワンストップで 県食品開発研究所 相談窓口オープン				●
47	8月9日	読売新聞	食の安全相談 境港に専門窓口 2人常駐				●
48	8月11日	朝日新聞	風力・水力・太陽光 小型発電 進む実証実験				●
49	8月12日	日本海新聞	科学の不思議に興味津々 米子で「教室」				●
50	8月27日	MSN 産経ニュース	ガラス切断技術で特許 鳥取県産業技術センター				●
51	8月27日	SANPO WEB	レーザーによるガラス切断に成功 鳥取産技センターと福井商会				●
52	9月5日	日本海新聞	産業の未来をつむぐ 入居企業のサポート充実	●			
53	9月17日	山陰中央新報	EVのシム社 米子道で試験走行へ				●
54	9月18日	日本海新聞	HV車の技一目で 分解部品を展示				●
55	9月21日	日本海新聞	「シム・レイ」初の公道試験 EVへの期待膨らむ				●
56	9月22日	朝日新聞	新型EVに試乗 県が出資「シム・レイ」				●
57	9月15日	日刊工業新聞	鳥取県産業技術センター、インサイト部品展示				●
58	9月28日	MSN 産経ニュース	目指せ！！自動車産業参入 鳥取県産業技術センター				●
59	10月1日	日本海新聞	日本海新聞本社来訪 (H23.9.30)	●			
60	10月2日	読売新聞	11団体がプロジェクト参画 次世代EV試作車披露				●
61	10月8日	日本海新聞	離職者流出を防止 三洋CE雇用問題	●			
62	10月10日	日本海新聞	EV開発 市場性考慮を米子で講習会				●
63	10月13日	読売新聞	会社東西南北 沢田防災技研 ㊦	●			
64	10月29日	日本海新聞	伯州綿 念願の商品化		●		
65	10月29日	山陰中央新報	伯州綿使い初の商品化		●		
66	11月5日	毎日新聞	伯州綿 ブランド化、夢に一步		●		
67	11月7日	日本海新聞	西条柿使い創作菓子				●
68	11月9日	読売新聞	伯州綿 丈夫でふんわり 弓ヶ浜産		●		

69	11月10日	日本海新聞	県産業技術センターに感謝状 ゼンヤクノー	●			
70	11月11日	日本海新聞	高齢者用買い物カート開発 使いやすさを追求			●	
71	11月16日	日本海新聞	杉の良さ 伝えたい 「スギゴコチ」坂本和信		●		
72	11月24日	日本海新聞	鳥取県産技センター山本さん 国際学会でベストポスター賞		●		
73	12月2日	山陰中央新報	米子高専 鳥取オフィス開所	●			
74	12月5日	日本海新聞	米子高専 県産業技術センターに「鳥取オフィス」開設	●			
75	平成24年1月3日	日本海新聞	マイクロ水力発電 農業用水や排水流水を活用			●	
76	1月21日	日本海新聞	海の味する魚醤油 境港産マグロ使い開発				●
77	1月21日	山陰中央新報	クロマグロの内臓で醤油 米子の会社が商品化				●
78	1月22日	NNN ニュース	境港産マグロの魚醤 知事に贈呈				●
79	1月22日	産経ニュース	米子の食品メーカーがクロマグロ魚醤を開発				●
80	1月23日	毎日新聞	魚っとするおいしさ 産技センターと米子の会社が商品化				●
81	1月26日	読売新聞	マグロ魚醤「新名物に」 米子の丸綜が初商品化				●
82	1月27日	山陰中央新報	マグロ魚醤の料理試食 関係者おいしさ実感				●
83	1月27日	読売新聞	はやぶさ探索小惑星 「イトカワ」微粒子見よう		●		
84	1月27日	毎日新聞	物質衝突の過程解明 スペースワールド 倉吉で開催		●		
85	1月28日	山陰中央新報	伯州綿なう 茎も一役 和紙の原料にリサイクル		●		
86	1月28日	日本海新聞	マグロ魚醤油 料理に深みある味				●
87	2月4日	山陽新聞	7人功績者表彰 11年度中国地域公設試験研究機関	●			
88	2月5日	日本海新聞	境港の資源で食文化おこし				●
89	2月15日	電気新聞	研究功績者7名を選出 ちゅうごく産業創造センター		●		○
90	2月23日	山陰中央新報	米子高専生 EV勉強会			●	
91	2月24日	日本海新聞	倉吉、小惑星イトカワのサンプル公開		●		
92	2月26日	日本海新聞	イトカワ微粒子分析で講演 表面に微小クレター		●		
93	2月26日	日本海新聞	イトカワ微粒子公開 倉吉で世界初		●		
94	2月26日	山陰中央新報	微粒子世界初公開 倉吉の科学イベント		●		
95	2月26日	読売新聞	「はやぶさ」の功績ひと目 倉吉で紹介イベント		●		
96	2月26日	朝日新聞	小惑星イトカワの微粒子観察が人気		●		
97	2月28日	日本海新聞	化粧品開発の秘話 富士フィルム荒河氏講演				●

98	3月9日	日本海新聞	魚肉片の大型成型技術で講習 県産技センター				●
99	3月12日	日本海新聞	県産技センター西本所長 中国経済産業局長賞に輝く		●		
計				23	26	24	26

③テレビ・ラジオ放送

番号	日付	テレビ・ラジオ放送	タイトル	全体	鳥取	米子	境港
1	4月27日	中海テレビ放送	伯州和紙関連		●		
2	6月27日	NHK 鳥取ローカルニュース	伯州和紙関連		●		
3	6月6日	山陰放送	マグロのチャンジャ試験仕込み				●
4	5月25日	山陰中央テレビ	境港産クロマグロを使用したボトルガ(からすみ)及びマグロ醤油製造技術情報公開講習会				●
5	5月25日	中海テレビ放送	境港産クロマグロを使用したボトルガ(からすみ)及びマグロ醤油製造技術情報公開講習会				●
6	6月17日	日本海テレビニュース every 日本海	マイクロ水力発電の紹介			●	
7	7月7日	NHK いちおし News とっとり	まぐろの内臓の活用				●
8	8月7日	伯耆町有線テレビジョンセンター	マイクロ水力発電の紹介			●	
9	8月9日	中海テレビニュース	食の安全安心相談窓口設置について				●
10	8月12日	テレビ東京 モーニングサテライト	鳥取県におけるマイクロ水力発電の取組			●	
11	8月17日	中海テレビニュース	食の安全安心相談窓口設置について				●
12	8月17日	日本海テレビ	マグロ魚醤油について				●
13	8月22日	NHK 鳥取ローカルニュース	レーザーによるガラス切断実験			●	
14	9月22日	NHK	シムドライブ			●	
15	9月22日	日本海テレビ	シムドライブ			●	
16	9月22日	山陰放送	シムドライブ			●	
17	9月22日	山陰中央テレビ	シムドライブ			●	
18	11月16日	NHK 鳥取ローカルニュース	伯州和紙		●		
19	平成24年1月20日	日本海テレビ	マグロ魚醤油について				●
20	1月20日	NHK 鳥取ローカルニュース	マグロ魚醤油について				●
21	1月20日	日本海ケーブルテレビ	マグロ魚醤油について				●
22	1月26日	山陰放送	マグロ魚醤油について				●
23	1月27日	NHK 鳥取ローカルニュース(朝)	マグロ魚醤油について				●

24	1月27日	NHK 鳥取ローカルニュース(昼)	マグロ魚醤油について				●
25	2月7日	中海テレビ放送	マグロ魚醤油について				●
26	2月8日		マグロ魚醤油について				●
27	2月25日	NHK ニュース	スペース・サイエンス・ワールド in とっとり		●		

④中海テレビ放送 「産業技術 HOT 情報」

鳥取県産業技術センターが企業と取り組む技術開発の内容や成果を紹介する番組

番号	日付	テレビ放送	タイトル	全体	鳥取	米子	境港
28	平成23年 4月	中海テレビ放送	金属接合技術			●	
29	5月	〃	鳥取ブランド純米酒の開発				●
30	6月	〃	製品に混入した異物の分析技術		●		
31	7月	〃	プラズマを使ったコーティング技術			●	
32	8月	〃	あんぼ柿の日持ちの向上				●
33	9月	〃	小中学生のための科学教室		●		
34	10月	〃	高精度な測定評価技術			●	
35	11月	〃	食の安全・安心対応相談窓口の設置について				●
36	12月	〃	ラピッドプロトタイピング装置		●		
37	平成24年 1月	〃	金属材料の評価分析技術			●	
38	2月	〃	美白作用の効果技術				●
39	3月	〃	製品の内部にできる揮発性成分の分析		●		
計				0	8	12	19

○ 組込システム開発人材育成事業

(18) 人材育成等の戦略的实施状況

実施状況	<p>・組込ソフトウェアの開発技術に関する組み込みシステム技術講習会を4回開催 ≪企業向け≫</p> <p>講座Ⅰ Android開発実践「はじめてのAndroidアプリ開発」12/26 4名 (株)ギャラクシー 植田拓也、鳥取県産業技術センター 福谷武司</p> <p>講座Ⅱ Android応用開発「Android I/O制御」3/16 2名 鳥取県産業技術センター 福谷武司</p> <p>講座Ⅲ 組み込みシステム開発応用「組み込みマイコン(H8)応用編」3/22 3名 ロジックテクノロジー 田淵利彦</p> <p>≪学生向け≫</p> <p>Android基礎「Android入門」12/5, 12, 19 鳥取環境大学生 13名 鳥取県産業技術センター 福谷武司</p>
------	--

(19) 人材育成の数値目標の達成状況

人材の育成状況	延べ22名の技術者を育成(年度目標約10名 達成率220%)
---------	--------------------------------

(20) 受講者の満足度等の状況

受講者の満足度	<p>・講座Ⅰ、Ⅱ、Ⅲにおいて実施 ◎受講者アンケートの結果(総括)</p> <p>受講者アンケートを実施した結果、講義内容の業務との関連性は77%が「直結または関連する」、実用性は100%が「役立つ、大いに役立つ」、講義レベルは100%が「丁度よい」、講義の構成は100%が「適切」、全体の満足度については88%が「大変満足、満足」、「やや不満足、不満足」が12%との回答を得た。不満足の内容は、「講師の音声が届きにくかったこと」、「教材のさらなる充実を求める」等であった。 今後、機材の改善、カリキュラム教材の改善等にて講義内容がより確実に受講者に伝わるような形にしていきたい。</p> <p>≪企業向け≫</p> <p>講座Ⅰ Android開発実践「はじめてのAndroidアプリ開発」 (以下カッコ内は回答数)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大変満足</td> <td>満足</td> <td>やや不満足</td> <td>不満足</td> </tr> <tr> <td>25% (1)</td> <td>50% (2)</td> <td>25% (1)</td> <td>0%</td> </tr> </table> <p>講座Ⅱ Android応用開発「Android I/O制御」</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大変満足</td> <td>満足</td> <td>やや不満足</td> <td>不満足</td> </tr> <tr> <td>100% (1)</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table> <p>講座Ⅲ 組み込みシステム開発応用「組み込みマイコン(H8)応用編」</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大変満足</td> <td>満足</td> <td>やや不満足</td> <td>不満足</td> </tr> <tr> <td>33% (1)</td> <td>67% (2)</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table> <p>≪学生向け≫</p> <p>Android基礎「Android入門」(アンケート未実施)</p>	大変満足	満足	やや不満足	不満足	25% (1)	50% (2)	25% (1)	0%	大変満足	満足	やや不満足	不満足	100% (1)	0%	0%	0%	大変満足	満足	やや不満足	不満足	33% (1)	67% (2)	0%	0%
大変満足	満足	やや不満足	不満足																						
25% (1)	50% (2)	25% (1)	0%																						
大変満足	満足	やや不満足	不満足																						
100% (1)	0%	0%	0%																						
大変満足	満足	やや不満足	不満足																						
33% (1)	67% (2)	0%	0%																						

○ 次世代ものづくり人材育成事業

(21) 人材育成等の戦略的实施状況									
実施状況	・ 金属加工・製品設計評価及び制御技術に関する講習会・セミナーを5回開催 ①「製品設計評価」5/26-27 5名 ②「3次元CADモデリング技術」6/24 1名 ③「製品設計評価技術」6/24 1名 ④「ISO9000に係るトレーサビリティと測定具の管理・校正」9/22 2名 ⑤次世代ものづくり人材育成セミナー 「製品安全とPL法」(講師:パナソニック松井氏) 3/16 21名								
(22) 人材育成の数値目標の達成状況									
人材の育成状況	・ 技術講習会、育成セミナーの開催により延べ30名の技術者を育成 (年度目標約10名 達成率300%)								
(23) 受講者の満足度等の状況									
受講者の満足度	・ 開催した5回の講習会・セミナーで実施 ①「製品設計評価技術 (5/26-27) 5名受講」 (以下かつこ内は回答数)								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>大変満足</th> <th>満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20% (1)</td> <td>80% (4)</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	大変満足	満足	やや不満	不満足	20% (1)	80% (4)	0%	0%
大変満足	満足	やや不満	不満足						
20% (1)	80% (4)	0%	0%						
	②「3次元CADモデリング技術 (6/24) 1名受講」								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>大変満足</th> <th>満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100% (1)</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	大変満足	満足	やや不満	不満足	100% (1)	0%	0%	0%
大変満足	満足	やや不満	不満足						
100% (1)	0%	0%	0%						
	③「製品設計評価技術 (6/24) 1名受講」								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>大変満足</th> <th>満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100% (1)</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	大変満足	満足	やや不満	不満足	100% (1)	0%	0%	0%
大変満足	満足	やや不満	不満足						
100% (1)	0%	0%	0%						
	④「ISO9000に係るトレーサビリティと測定具の管理・校正(9/22) 2名受講」								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>大変満足</th> <th>満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50% (1)</td> <td>50% (1)</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	大変満足	満足	やや不満	不満足	50% (1)	50% (1)	0%	0%
大変満足	満足	やや不満	不満足						
50% (1)	50% (1)	0%	0%						
	⑤次世代ものづくり人材育成セミナー「製品安全とPL法」								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>大変満足</th> <th>満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10% (2)</td> <td>86% (18)</td> <td>4% (1)</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	大変満足	満足	やや不満	不満足	10% (2)	86% (18)	4% (1)	0%
大変満足	満足	やや不満	不満足						
10% (2)	86% (18)	4% (1)	0%						

○ デザイン力強化人材養成事業

(24) 人材育成等の戦略的实施状況

実施状況	<p>◎商品開発でのデザイン力活用、スキル向上を図るセミナーを5回開催</p> <p>・デザイン力強化セミナー（機構事業「ものづくりカイゼン塾」と共催にて食品業界を対象として2回実施） 開催場所：米子コンベンションセンター</p> <p>①「マーケティングと商品開発セミナー（1日目 7/8）」 20社27名</p> <p>②「マーケティングと商品開発セミナー（2日目 7/15）」 14社18名</p> <p>・デザイン力強化セミナー（機構事業「ものづくりカイゼン塾」と共催にてを全業種を対象として3回実施）</p> <p>③「商品企画力向上セミナー（第1回）」（11/18 ホテルモナーク） 10社13名</p> <p>④「商品企画力向上セミナー（第2回）」（11/25 クラフト岩井窯） 10社13名</p> <p>⑤「商品企画力向上セミナー（第3回）」（12/2 クラフト岩井窯） 10社14名</p>
------	---

(25) 人材育成の数値目標の達成状況

人材の育成状況	<p>・デザイン力強化セミナー講習会の開催により延べ32名の人材を育成（年度目標約10名 達成率320%）</p> <p>「マーケティングと商品開発セミナー」の受講修了者 14社 18名</p> <p>「商品企画力向上セミナー」の受講修了者 10社 14名</p>
---------	--

(26) 受講者の満足度等の状況

受講者の満足度	<p>・「マーケティングと商品開発セミナー（2日目）」</p> <p>・「商品企画力向上セミナー（第3回）」</p> <p>「マーケティングと商品開発セミナー」（アンケート実施日7/15、回答者18名） （以下かっこ内は回答数）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>満足</td> <td>まあまあ満足</td> <td>不満足</td> </tr> <tr> <td>56% (10)</td> <td>44% (8)</td> <td>0%</td> </tr> </table> <p>「商品企画力向上セミナー」（アンケート実施日12/2、回答者12名）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>満足</td> <td>まあまあ満足</td> <td>不満足</td> </tr> <tr> <td>67% (8)</td> <td>33% (4)</td> <td>0%</td> </tr> </table>	満足	まあまあ満足	不満足	56% (10)	44% (8)	0%	満足	まあまあ満足	不満足	67% (8)	33% (4)	0%
満足	まあまあ満足	不満足											
56% (10)	44% (8)	0%											
満足	まあまあ満足	不満足											
67% (8)	33% (4)	0%											

(27) 現場即応型の研究開発ができる人材育成の状況

① 実践的産業人材育成事業

実施状況	<p>◎研究手法習得コース</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度から平成23年度へ受講継続12名(7社) 平成23年度新規分 <ul style="list-style-type: none"> 応用電子科 : 3名(2社) 産業デザイン科 : 2名(2社) 発酵生産科 : 2名(2社) 生産システム科 : 13名(11社) 無機材料科 : 7名(5社) 食品技術科 : 19名(17社) 応用生物科 : 14名(10社) 計 : 60名(45社) ※受講社数は重複を除いた数値 <p>◎機器分析手法研修コース</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度新規分 <ul style="list-style-type: none"> 応用電子科 : 4名(4社) 有機材料科 : 3名(1社) 計 : 7名(5社) <p>◎修了証書授与式及び成果発表会 (12/8, 3/22 機械素材研究所、3/16 食品開発研究所、3/26 電子・有機素材研究所)</p>
受講者の満足度	<p>【研究手法習得コース】</p> <p>研修内容 : 「大変満足、満足」 100% (回答数 22)</p> <p>業務への有益性 : 「非常に役立つ、役立つ」 100% (回答数 23)</p> <p>【機器分析手法研修コース】</p> <p>研修内容 : 「大変満足」の回答が1件、「やや不満」の回答が1件 (回答者 2)</p> <p>*「やや不満」は、研修の時間配分に無駄があるとの指摘のため、資料の事前配布など工夫することとした。</p> <p>業務への有益性 : 「役立つ」の回答が2件 (回答者 2)</p>

② センター実践的人材養成事業 (国補事業)

実施状況	<p>・平成23年度地域企業立地促進等事業費補助金 (成長産業人材養成等支援事業) 中国地域LED産業活性化人材養成事業 (応用電子科)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「LED照明技術講習会」 (10/ 3、28名) 「LED熱設計講習会」 (10/ 7、29名) 「LED照明デザイン講習会」 (11/ 4、21名) 「LED安全性規格講習会」 (12/ 9、43名) 「LED道路照明基準講習会」 (1/30、33名) 「LED照明標準化講習会」 (3/ 1、21名) 																													
受講者の満足度	<p>・開催した6回の講習会でアンケート実施</p> <table border="1" data-bbox="363 1619 1420 1973"> <thead> <tr> <th>講習会名</th> <th>大変満足 (回答数)</th> <th>満足 (回答数)</th> <th>やや不満 (回答数)</th> <th>不満足 (回答数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「LED照明技術講習会」</td> <td>6%(1)</td> <td>83%(15)</td> <td>11%(2)</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>「LED熱設計講習会」</td> <td>25%(5)</td> <td>70%(14)</td> <td>5%(1)</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>「LED照明デザイン講習会」</td> <td>31%(5)</td> <td>56%(9)</td> <td>13%(2)</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>「LED安全性規格講習会」</td> <td>25%(9)</td> <td>64%(23)</td> <td>11%(4)</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>					講習会名	大変満足 (回答数)	満足 (回答数)	やや不満 (回答数)	不満足 (回答数)	「LED照明技術講習会」	6%(1)	83%(15)	11%(2)	0%	「LED熱設計講習会」	25%(5)	70%(14)	5%(1)	0%	「LED照明デザイン講習会」	31%(5)	56%(9)	13%(2)	0%	「LED安全性規格講習会」	25%(9)	64%(23)	11%(4)	0%
講習会名	大変満足 (回答数)	満足 (回答数)	やや不満 (回答数)	不満足 (回答数)																										
「LED照明技術講習会」	6%(1)	83%(15)	11%(2)	0%																										
「LED熱設計講習会」	25%(5)	70%(14)	5%(1)	0%																										
「LED照明デザイン講習会」	31%(5)	56%(9)	13%(2)	0%																										
「LED安全性規格講習会」	25%(9)	64%(23)	11%(4)	0%																										

「LED道路照明 基準講習会」	22%(5)	74%(17)	4%(1)	0%
「LED照明標準 化講習会」	24%(4)	70%(12)	6%(1)	0%

(28) 大学等からの研修生の受け入れなど、次世代を担う技術者の育成の状況

インター ンシップ の実施状 況	<p>◎インターンシップの受け入れ19名 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立米子工業高等専門学校 5名 (8/22-26、無機材料科) ・国立米子工業高等専門学校 2名 (8/22-9/2、8/29-9/9、生産システム科) ・国立米子工業高等専門学校 2名 (9/12-16、有機材料科) ・国立米子工業高等専門学校 2名 (8/22-26、8/22-9/2、応用生物科) ・国立米子工業高等専門学校 2名 (8/22-26、食品技術科) ・県立米子工業高等学校 6名 (10/19-21、生産システム科) ・米子文化服装専門学校生徒にアパレルCAD実習(11/16, 17, 21、生産システム科) <p>◎講習会(学生向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立米子工業高等専門学校学生向け講習会及び自動車分解展示等見学会(2/22、機械素材研究所) <p>◎教育機関からの講師依頼への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立米子工業高等専門学校機械工学セミナー担当 ・鳥取短期大学特別講師 ・鳥取環境大学非常勤講師
---------------------------	---

(29) 産学金官の連携による企業支援の状況

「産学金 官連携」 の実施状 況	<p>◎各種の評価、選定、審査会などへの派遣による連携 企業の研究開発、販路開拓、経営革新等を支援する補助金や事業計画の採択審査 会に派遣し、当センター職員が有する技術に関する知識、ノウハウを活かして協力。 また、行政施策の要請に基づく審査会、教育機関からの講師依頼への対応 (県関係)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 鳥取県環境学術研究振興事業評価委員会 2 鳥取県グリーン商品認定審査会 3 鳥取県リサイクルビジネスモデル支援事業審査会 4 鳥取県中小企業経営革新計画承認審査会 5 鳥取県バックアップ型トライアル発注制度対象製品等選定会議 6 鳥取県企業支援ネットワーク連携推進会議 7 県雇用創造協議会運営委員会 8 とっとり農商工こらぼ研究コンソーシアム 9 とっとり農商工こらぼ研究コンソーシアム植物工場等新生産方式導入検討部会 10 とっとり農商工こらぼ研究コンソーシアムIT・電子・機械化技術活用部会 11 県雇用維持企業再構築研究開発補助金評価委員会 12 次世代環境産業創出プロジェクト事業 13 LED戦略研究会 14 鳥取県ものづくり事業化応援補助金審査 15 創意工夫功労者推薦の支援 16 鳥取県やる気のある企業支援補助金審査 17 雇用創造1万人プロジェクト繊維産業WG会議 18 技能者表彰候補者選考委員会 19 建設業新分野進出事業補助金審査
---------------------------	--

- 20 食のみやこ鳥取県特産品コンクール審査
- 21 鳥取県ふるさと認証食品協議会
- 22 有機農産物等認定業務
- 23 とっとりオリジナル加工品づくり支援事業
- 24 加工品ステップアップ支援事業審査会
- 25 有機加工食品検査
- (市関係)
- 1 鳥取市スマートタウン推進協議会
- 2 鳥取市企業立地推進連絡会
- 3 鳥取市産学官連携地域活性化事業補助金交付審査
- 4 米子市中小企業新技術新製品開発促進補助金の補助事業認定に係る審査選考
- 5 境港市環境審議会
- (産業振興機構関係)
- 1 農商工連携研究開発支援事業審査委員会
- 2 次世代・地域資源産業育成事業審査委員会
- 3 電子ディスプレイ関連産業育成プログラム
- 4 専門展示会出展事業審査会
- 5 ものづくり分野の人材育成・確保事業推進委員会
- 6 専門展示会出展事業審査会
- 7 とっとりバイオフィロンティア遺伝子組換え実験安全委員会・とっとりバイオフィロンティア動物実験委員会
- 8 とっとりバイオフィロンティア入所者選定審査会
- 9 バイオフィロンティア研究部会
- 10 鳥取県農商工連携促進ファンド事業審査会
- 11 鳥取発ベンチャー企業補助金審査委員会
- (団体関係)
- 1 中国地方電力使用合理化委員会
- 2 全国新酒鑑評会
- 3 鳥取県清酒鑑評会
- 4 市販酒類調査品質評価会
- 5 とっとりの技能育成支援事業助成金認定審査
- 6 技能検定(清酒製造作業)
- 7 技能検定(電気めっき作業)
- 8 産業技術連携推進会議 中国地域部会 生命工学分科会長
- 9 全国食品関係試験研究所場所長会幹事
- 10 市販酒研究会
- 11 兵庫県酒造大学講座
- 12 鳥取県溶接技術協議会
- 13 中国地区溶接技術検定委員会
- 14 鳥取県マイクロ水力発電導入促進研究会専門部会
- 15 精密工学会中国四国支部
- 16 めっき技術講習会
- 17 鳥取県食品産業協議会
- 18 売れる商品づくり事業認証選定委員会
- 19 こだわり物産販売商品開発委員会
- 20 投資育成情報交換会
- 21 JAPANブランド育成支援事業戦略策定委員会
- 22 NPO法人機能紙研究会理事会
- 23 鳥取西ロータリークラブ例会
- 24 観光みやげ品審査会
- (教育機関関係)
- 1 米子工業高等専門学校機械工学セミナー担当

- 2 鳥取工業高校産業教育懇話会
- 3 米子工業高等学校地域委員会
- 4 県立境港総合技術高等学校水産学科地域委員会（ネットワーク会議）
- 5 鳥取短期大学特別講師
- 6 鳥取環境大学非常勤講師
- 7 鳥取大学ものづくり道場
- ◎関係機関会議への派遣による連携
 - ・東日本大震災影響対策トップミーティング
 - ・企業立地推進本部会議
 - ・とっとり企業支援ネットワーク会議
 - ・バイオフィロンティアとの連携（開所式、入居企業審査会、研究員採用審査会、安全委員会、研究・企画部会）
- ◎企業支援に資する連携協定等
 - ・「東日本大震災鳥取県中小企業特別相談体制に関する協定書」（中小企業の経営再生及び経営改善のための緊急支援）平成23年7月1日 センター他19者（金融機関10、行政1、支援団体8）
 - ・国立米子工業高等専門学校の「米子高専鳥取オフィス」を鳥取の電子・有機素材研究所内に開設し、研究協力・技術相談などの連携を強化（12月）
- ◎産学金官連携に係わる会議、イベント、セミナー、交流会などに職員を派遣
 - ・県雇用創造協議会運営委員会
 - ・農商工連携研究開発支援事業審査委員会
 - ・とっとり産業フェスティバル（8/26-27、鳥取市）
 - ・中海ものづくりフェア（11/18、松江市）
 - ・とっとり農商工こらぼ研究コンソーシアム、農商工こらぼ事例発表会、農商工連携・6次産業化セミナー
 - ・鳥取県・岡山大学と連携し「スペース・サイエンス・ワールド in とっとり」を開催（2/25-26、倉吉市）
- ◎その他
 - ・マグロ魚醤油の全国発信事業の第1回進捗状況報告会（5/10、食品技術科）
 - ・鳥取大学の次世代産業育成事業における連携の進捗報告会議（6/17、応用生物科）
 - ・6次産業化・農商工連携セミナー及び交流会（6/28、鳥取市、食品開発研究所）
 - ・米子工業高等専門学校振興協力会総会、講演会（7/5、米子市、機械素材研究所）
 - ・自動車軽量部材研究会講演会（7/22、広島市、生産システム科）
 - ・協同組合米子鉄工センター青年部講演（7/22、米子市、機械素材研究所）
 - ・「ハイブリッド車の分解解体研修」（主催：鳥取県、産業振興機構、産業技術センター、協力：マツダ(株)、ひろしま産業振興機構カーエレクトロニクス推進センター）（8/4、米子高等技術専門学校、生産システム科）
 - ・とっとり産業フェスティバル2011&鳥取環境ビジネス交流会2011（8/26-27）
 - ・米子工業高等専門学校との連携協議（10/6、機械素材研究所）
 - ・弓浜緋伝工芸士認定事業産地委員会（9/16、弓浜がすり伝承館、機械素材研究所）
 - ・統一知識試験、実技試験立ち会い（10/14、弓浜がすり伝承館、機械素材研究所）
 - ・鳥取県総合特区フォーラム（11/10、米子市、食品開発研究所）
 - ・鳥取県立米子工業高校 地域委員会（機械科）（11/14、米子工業高校、機械素材研究所）
 - ・中海圏域産業技術展及び名刺交換会（11/18、松江市、機械素材研究所）
 - ・米子工業高等専門学校振興協力会 特別講演会・情報交換会（交流会）（11/25、米子市、機械素材研究所）
 - ・鳥取県塑性加工研究会 設立発会式、記念講演会（11/28、倉吉市、機械素材研究所）
 - ・鳥取大学西部連絡会（11/16、12/21、鳥取大学医学部、無機材料科）
 - ・中海ものづくりフェア（産学金官チーム）（11/18、松江市）
 - ・鳥取銀行行員リエゾン研修会（産学金官チーム）（11/29、倉吉市）
 - ・中部地区産学金官連携推進連絡会 農商工連携ワーキンググループ会議（12/16、

	<p>3/13、食品開発研究所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営体質プロフェッショナルチーム事業（境港商工会議所主催）（1/18、境港市、食品技術科） ・（財）鳥取県産業振興機構 新春講演会・会員交流会（1/19、米子市） ・山陰地区鍍金工業組合 新年会（1/20、米子市） ・食品産業協議会講演会、所内見学への対応（1/27、応用生物科） ・米子高専とのE V連携講演会の開催（2/22、機械素材研究所） ・平成23年度東部農商工こらぼネット全体会議（2/28、食品技術科） ・米子高専と連携した意見交換会、講演会（2/24、境港市、食品開発研究所）
<p>企業における市場動向を踏まえた製品化、事業化の支援の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎技術面、コーディネート機能も含めた製品化、事業化の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度地域企業立地促進等事業費補助金の採択（経済産業省中国地域LED産業活性化人材養成事業） ・国府町楠城集落におけるマイクロ水力発電装置の現場設置、機器調整及び発電試験の技術支援 ◎売れるものづくり、企業が市場に売り出すまでのトータルな支援事例 <ul style="list-style-type: none"> ・「OKシートの技術説明」（平成15年度から経済産業省補助事業で県内企業と共同研究実施、研究員派遣制度により発注が想定される県外企業への技術説明に同行支援） ・「伯州和紙ランチョンマットお箸セットの発表と販売」（財団法人境港市農業公社と伯州綿の木の茎を原料とする伯州和紙の開発研究を行い、境港市の新たな地域資源として期待される伯州和紙の開発支援） ・「マグロ魚醤油の商品化」（境港で水揚げされるクロマグロの内臓等の未利用水産資源を活用する研究成果を基に、県内企業が魚醤油を商品化し、知事表敬報告や完成発表会を支援） ・「レーザー加工機によるガラス切断技術の開発」（起業化支援室入居企業とガラス等脆性材料をレーザー加工機で任意形状に切断できるノズルを開発し特許取得、公開実験やプレスリリースを支援） ・「小型魚肉の高付加価値化をめざした電氣的処理・可食性接着剤による大型成型化」（平成21年度より実施した新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（農林水産省委託事業）の技術普及講習会を食品関連業者向けに開催。良質ながら未利用の水産加工残滓や小型魚を大型成型化魚肉として再資源化する技術を普及） ・「大型シャッターガードの完成」（起業化支援室入居企業が幅4mを超える大型格納庫などの電動シャッターに対応できる製品を新たに開発、センターは強度試験等の技術支援、県立図書館ビジネス支援、県補助金により完成） ・「第5回キッズデザイン賞の受賞」特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催（経済産業省後援）（杉の特長を活かした木材の加工法を支援した県内企業の作品が受賞） ・「工業製品の放射線測定の実施」（県内企業が製造した工業製品（食品を除く）が海外取引などで放射線量の測定が必要となった場合、無料で放射性表面汚染を測定し、放射線量測定結果報告書を発行） ・食品開発研究所「商品開発支援棟」の検討（原料からバイヤーに提供できる商品試作、製品ブラッシュアップまでの一貫した支援を想定） ◎その他 <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度地域企業立地促進等事業費補助金（成長産業人材養成等支援事業）採択（採択名：中国地域LED産業活性化人材養成事業）（応用電子科） ・因州和紙あぶらとり紙（センター技術移転製品）の販路拡大支援（有機材料科） ・鳥取県立米子南高等学校作成レシピの商品化のためのコラボレート企業を紹介。賞味期限の設定などについて支援（食品技術科） ・マグロ魚醤油の開発支援（食品技術科） ・国府町楠城集落におけるマイクロ水力発電装置の現場設置に際し試運転に立ち合い、機器調整及び発電試験を技術支援（生産システム科） ・SIM-Drive2号車SIM-WILへの開発ツールの技術支援、SIM-LEIに比べ大幅に乗り心

	<p>地が改善され、試験結果から判明した改善ポイントは概ね達成（生産システム科）</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能性紅茶の開発支援（応用生物科）
技術面におけるコーディネート機能の充実、積極的な役割の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> マツダVEセンター、広島振興機構BMセンターにて自動車分解に関する打ち合わせ（マツダ(株)6/7、呉6/8、機械素材研究所） 廃蛍光管リサイクル検討会に関し企業6社と（財）鳥取県産業振興機構、鳥取県衛生環境研究所が集い、廃蛍光管ガラスリサイクルの事業化、新製品開発について検討。中心メンバーとしてコーディネート支援（6/15、8/5、無機材料科） レトルト処理の受託加工先を紹介（8/30、食品技術科） 産業技術連携推進会議研究連携支援事業「革新的耐食・耐摩耗性コーティング技術開発」会議のコーディネート支援（11/30、広島、無機材料科） カーボン面状発熱体を用いた融雪装置の開発に関し、企業5社が集まり検討会議を実施（1/26、機械素材研究所） 環境・資源リサイクルセミナーの参加企業よりニーズや開発案件等を聞き取り、企業間連携による新技術開発に向けた取組をコーディネート支援（3/19、無機材料科）
「地域イノベーション戦略支援プログラム事業」や「バイオフロンティア」に対する支援状況	<p>◎農水・環境関連など異分野との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域イノベーション連携研究に関連して、バイオフロンティアへの入居並びに研究のコーディネート（応用生物科） 地域イノベーション研究推進会議（8/23、10/21、食品開発研究所） 地域イノベーション戦略支援プログラム第2回研究推進会議（2/17、応用生物科） とっとりバイオフロンティア開所式（4/26、食品開発研究所） 県内健康食品関連企業のバイオフロンティア入居企業審査（6/1、食品開発研究所） 県内企業の地域イノベーション事業への参画支援（食品開発研究所） 地域イノベーション産学官事業での医学部との研究開発に対するの相談並びに要望聞き取り（食品開発研究所） バイオフロンティア研究員採用審査会（食品開発研究所）
「食品開発と健康に関する研究会」の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 第6回農・畜産物加工分科会（8/17、倉吉未来中心） 水産物加工分科会（第6回新しい食品加工技術勉強会と合同開催）（3/6、食品開発研究所） 「食品開発と健康に関する研究会」全体会議（3/7、米子コンベンションセンター）

（30）業務運営や組織体制の見直し状況

役員会、監事監査の開催実績	<ul style="list-style-type: none"> 役員会 <ul style="list-style-type: none"> 第1回（6/10） 第2回（8/11） 第3回（10/21） 第4回（1/30） 第5回（3/27） 監事監査 <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度期末監査（6/6） 平成23年度期中監査（11/29）
幹部会、運営会議の開催実績	<ul style="list-style-type: none"> 幹部会を定期的開催、参集範囲を科長まで広げて随時拡大幹部会を開催 <ul style="list-style-type: none"> 幹部会：毎月第2火曜日及び第4火曜日 年24回開催 拡大幹部会（6/14、9/27、12/27、3/28）4回開催 幹部会に先立ち所間の調整を図るため、随時所長協議を実施 <ul style="list-style-type: none"> 所長協議（5/11 米子、8/11 TV会議）
各種委員会の開催実績	<ul style="list-style-type: none"> 動物実験委員会（4/26） 情報ネットワーク委員会（6/21） 企業支援データベース検討委員会（6/21、7/14、11/24、3/13）

	<ul style="list-style-type: none"> ・シーズ研究評価委員会 (6/2、12/6、12/20) ・知的財産委員会 (5/2、5/24、6/20、8/9、11/8、2/21、2/28、3/13) ・人事等評価委員会 (6/22、11/28、3/7) ・機器仕様選定委員会 (6/29、7/12、9/21、12/27) ・研究報告編集委員会 (7/21、2/6) ・広報委員会 (5/17、7/6、3/21) ・BCP検討委員会 策定協議(7/7)、(ワークショップ 第1回7/29、第2回8/11、第3回9/9、第4回9/15、第5回9/29、第6回11/1) ・職員採用試験委員会 (6/23、9/2、9/21、12/21-22、2/28) ・安全衛生委員会 (10/12、3/14) ・環境管理委員会 (12/27)
特任研究員チーム会議の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成特任チーム：TV会議(6/15、12/15)、BCP策定委員会(10/5) ・研究企画特任チーム：TV会議(9/29、12/15)、研究中間報告会日程調整(10/21)、研究中間報告会の開催担当(10/20 境港、10/26 鳥取、10/31 米子) ・産学金官特任チーム：TV会議(9/1)
意思決定の迅速化と業務の効率化への取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急を要するものは随時、センターネットワークにより、テレビ会議システムを用いて協議を行い、業務運営を迅速化・効率化 ・企業支援サービスの更なる向上と業務の効率化を図るため「企業支援情報データベース」の構築(平成24年度より運用開始)
事業の効率的な執行体制の整備・見直し状況	<ul style="list-style-type: none"> ・組織運営の観点から、電子・有機素材研究所に在って食品開発研究所が所管していた発酵生産科を電子・有機素材研究所に移管 ・センター危機管理計画の策定に向けての取組 幹部会で危機管理の現状と課題について協議 BCP講演会受講(6/9 2名) 各施設で職員を対象としてBCP講習会開催(6/14 米子、6/22 境港、6/27 鳥取) 危機管理計画策定に向けて策定委員会で協議(7/7、11/11) ・業務の平準化に向けた、機器操作及び分析手法等の技術レベル習得意向調査などを実施(食品開発研究所)
社会経済状況や企業ニーズなどの対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の県内製造業(素形材関連企業)への影響について聞取調査(4月) ・東日本大震災への対応として、県内企業が製造した工業製品(食品を除く)で海外取引などで放射線量の測定が必要となった場合、無料で放射性表面汚染を測定し、放射線量測定結果報告書を発行

○放射線測定に係る問い合わせ等の状況(平成23年3月～平成24年3月)

項目/研究所	鳥取	米子	境港	企画	計
1. 測定についての単純問合せ	4	5	14	2	25
2. 行政などからの問合せ	6	2	6	11	25
3. 測定の依頼・事前打合せ	1	5	0	0	6
4. 実際の測定	1	4	1	0	6
5. マスコミからの問合せ	0	4	0	2	6
計	12	20	21	15	68

(31) 研修参加、派遣等による職員の能力開発の状況

各種研修
会への派
遣参加状
況

◎職員の資質向上

鳥取県職員人材開発センター等の行う研修への職員派遣

- ・新規採用職員研修 (4/6-19、4名)
- ・新規採用職員研修・フォロー研修 (10/6-7、4名)
- ・新規採用職員防災研修 (6/8-9 1名、6/15-16 1名、10/12-13 2名)
- ・課長補佐級昇任前ステップアップ研修 (10/3 1名、10/4 1名、10/5 2名)
- ・新任課長補佐級研修 (5/11 1名)
- ・課長昇級昇任前ステップアップ研修 (10/11 1名、10/13 2名)
- ・新任課長級研修 (7/22、7/29 1名)
- ・臨時職員及び非常勤職員研修 (4/22 2名、10/12 2名)
- ・サポーター研修 (4/13 3名)
- ・コーチング入門講座受講 (5/13 1名)
- ・福祉体験研修 (福祉施設) (6/29-30 2名、8/3-4 1名、8/10-11 1名)
- ・採用3年目研修 (9/14 1名)
- ・民間企業等体験研修 (12/5-7、商業施設 1名)
- ・産業技術センター新規採用職員等研修 (4/4-5 4名)
- ・接遇研修 (7/28、29)
- ・若手研究員研修 (8/19)
- ・特任研究員研修 (10/21)
- ・商工労働部人権研修 (11/11)
- ・工業所有権情報・研修館(東京都)への研修派遣(知的財産) 1名
平成23年 7月11日～14日 企画室 梅林志浩
- ・中小企業大学校(東大和市)への研修派遣(研究開発マネジメント) 2名
平成23年12月12日～16日 応用電子科 高橋智一
平成24年 1月25日～29日 無機材料科 今岡睦明

◎技術研修、講習会への派遣

- ・夏期酒造ゼミナール (8/24-25、米子市、発酵生産科)
- ・醸友会シンポジウム (10/18、東京都、発酵生産科)
- ・戦略的商品開発イノベーションセミナー2011 (11/11、大阪市、発酵生産科)
- ・九州連携CAE研究会 (6/9-10 山口市 生産システム科、無機材料科、10/6 研究発表 佐賀県鳥栖市 生産システム科)
- ・X線回折講習会 (6/1-2、高槻市、無機材料科)
- ・「スマートグリッド展2011」、「次世代自動車展2011」 (6/16、東京都、無機材料科)
- ・点群処理ソフトのトレーニング (9/7-8、東京都、生産システム科)
- ・難削材加工専門委員会、研究発表会 (9/9、広島市、生産システム科)
- ・非接触三次元デジタイザー測定データ解析ソフト spGauge トレーニング (9/12-13、東京都、生産システム科)
- ・ジオマジック操作トレーニング (9/21、広島市、生産システム科)
- ・熱処理技術セミナー (9/8-9、東京都、無機材料科)
- ・「三次元CAD講習」 (10/4-5、東京都、生産システム科)
- ・「ソリッドワークスシミュレーション操作トレーニング」 (10/11-14、東京都、生産システム科)
- ・「非接触三次元デジタイザーデータ変換ソフト、CAD化編集ソフト操作教育受講」 (10/24-26、大阪市、生産システム科)
- ・電気取扱業務(低圧)特別教育受講 (1/25、倉吉市、生産システム科、応用電子科)
- ・放射性物質に関する緊急シンポジウム-放射性物質の食品影響と今後の対応 (4/18、つくば市、食品技術科)
- ・第21回西日本食品産業創造展 (5/25-26、博多市、食品技術科)
- ・健康博覧会 (6/7-9、東京都、応用生物科)

	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ヘルスコレクション (6/7-9、東京都、応用生物科) ・HPLCメンテナンス講習会 (8/2、岡山市、応用生物科) ・第6回グルコサミン研究会・研修会 (8/19、東京都、応用生物科) ・最新の食品冷凍・解凍技術講演会(サイエンスフォーラム主催) (10/27、東京都、食品技術科) ・平成23年度食品関係技術研究会、第2回食品関係技術研究会ならびに食品総合研究所研究成果展示会 (11/1-2、食品技術科) ・世界魚醤フォーラム(11/4-5 秋田市、食品技術科) ・水産利用加工全国会議 (11/15-18、横浜市、食品技術科) ・タイ海外ビジネスセミナー (12/13、米子市、機械素材研究所) ・ISS産業科学システムズセミナー「麹菌の生態・生理と麹造りのポイント」(12/1、東京都、応用生物科) ・産業技術総合研究所・産業技術連携推進会議LS-BT合同研究発表会 (1/31-2/1、つくば市、応用生物科) ・九州連携CAE研究会 (2/16-17、長崎県、生産システム科) ・平成23年度近畿中国四国農業試験研究推進会議 (2/2-3、福山市、食品技術科) ・食品品質保持技術研究会講演会 (3/15、東京都、食品技術科) ・機能性食品事業化戦略研究会 (11/17、米子市、応用生物科) ・AOU研究会 (11/28、東京都、応用生物科) <p>◎各種学会への派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(社)日本塑性加工学会 (6/14、群馬県、生産システム科) ・第25回キッチン・キトサン・シンポジウム (8/30-31、奈良市、応用生物科) ・第27回氷温大会 (9/15、米子市、食品技術科) ・化学工学会秋季大会 (9/15、名古屋市、有機材料科) ・乾燥技術に関する国際学会 (The 7th Asia-Pacific Drying Conference) (9/18-20、中国天津市、有機材料科) ・日本生化学会大会 (9/22-23、京都市、応用生物科) ・第63回日本生物工学会大会 (9/26-28、東京都、応用生物科) ・日本木材学会中国・四国支部研究発表会 (9/26、広島市、有機材料科) ・第76回レーザー加工学会 (12/6、東京都、生産システム科) ・精密工学会春季大会 (3/15、東京都、生産システム科)
<p>公設試験研究機関・民間企業等への派遣状況</p>	<p>◎(株)SIM-Drive(シム・ドライブ 慶應義塾大学発ベンチャー企業)に、「鳥取県次世代電気自動車共同研究協議会」の一員として継続して参画。電気自動車開発技術にかかる研修成果を県内企業への支援に活用するため、当センター研究員1名を平成22年1月から平成23年9月まで継続派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械素材研究所 生産システム科 吉田主任研究員 ・センター内報告会(4/25)、研修報告会(8/5、TV会議) ・鳥取県次世代電気自動車共同研究協議会の参画企業への報告訪問 <p>◎環境分野での研究成果を県内企業の支援に活用するため、東京大学生産技術研究所に、低炭素社会実現の環境関連技術の調査研究として、当センター研究員1名を平成20年5月から平成24年3月まで継続派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画管理部企画室 立花研究員
<p>学位・資格の取得の状況</p>	<p>◎学位・資格の取得の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学位取得のため博士課程に在籍：5名(企画総務部1、電子・有機素材研究所2、機械素材研究所2) <p>(参考 平成23年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士号取得者：13名 (企画管理部2、電子・有機素材研究所4、機械素材研究所4、食品開発研究所3) ・技術士：1名(機械素材研究所)

(32) 職員の業績評価の実施状況及び制度の改善状況

個人業績
評価制度
の実施状
況及び制
度の改善
状況

①個人業績評価制度

- ・平成21、22年度の業務別エフォート調査を実施した。(6月)
- ・12月中間評価において次のとおり評価方法を変更した。
 - *新規採用職員で研究職1級の職員については3年間、相対評価の対象外とした。
 - *業務運営への貢献については小評価項目ごとに評価するのではなく、各項目の合計で評価した。

②職員表彰制度

- ・全体のモチベーションアップ、モラルアップ、自己研鑽に繋げる目的で職員表彰制度により8名の職員を平成23年度理事長表彰した。(平成24年3月30日)
- ・他の職員の模範として推奨に値する業績又は行為のあった職員を表彰することにより、当該職員の職務遂行の意欲をさらに高めるとともに、他の職員の模範となることで職員全体のモラルアップを図る。

・インセンティブ

- *受賞者本人が希望する自己研鑽に係る研修やセミナーへ派遣
- *受賞者本人が持つ研究テーマ等に希望により研究費を上乗せ

① 電子・有機素材研究所所長 西本弘之

長年の研究業績、地域産業への貢献に加え、人材育成、産学官連携やセンター独法化への貢献が評価され、中国地域公設試験研究機関功績者表彰地域技術貢献賞を受賞したこと

② 応用電子科 主任研究員 吉田大一郎

研究業績に成果をあげるとともに今後の県内産業の人材育成への貢献が期待され、中国地域公設試験研究機関功績者表彰研究奨励賞を受賞したこと

③ 有機材料科 特任研究員 吉田晋一

多くの論文や特許出願など豊富な研究成果をあげ地域産業の振興に貢献したことが評価され、中国地域公設試験研究機関功績者表彰研究業績賞を受賞したこと

④ 有機材料科 主任研究員 山本智昭

天然抗菌剤をマイクロカプセル化し湿度応答性のある抗菌剤を開発する研究により国際学会(The 7th Asia-Pacific Drying Conference)でベストポスター賞を受賞したこと

⑤ 生産システム科 主任研究員 佐藤崇弘

共同研究を重ね製品化に貢献したOKシートにより当センターは企業とともに社団法人アルミニウム協会賞「開発奨励賞」を受賞した。その後も技術支援を続け企業の業績向上に繋がっていること

⑥ 食品技術科 科長 小谷幸敏

数々の特許や商品開発に繋がる多くの技術を開発し、近年ではマグロのポットルガや魚醤など鳥取県の将来的なブランドに繋がる商品開発を行って、当センターの技術力の高さを食品業界をはじめ県民に広く示すことになったこと

⑦ 食品技術科 特任研究員 松本通夫

一貫して鳥取県の地域農産物の流通や加工食品開発に携わり、地域の特産物を使った商品の開発に取り組むとともに、現場指導を熱心に行ってきたことが評価され、全国食品関係研究試験場所長会優良研究・指導業績表彰を受賞したこと

⑧ 食品技術科 主任研究員 加藤愛

従来廃棄されていた水産資源に着目して加工技術を開発し、ブラックバスを原料とした魚醤などユニークな製品を手がけ、その成果が企業による魚醤の製造へとつながったなどが評価され中国地域公設試験研究機関功績者表彰研究奨励賞を受賞したこと

③中国地域公設試験研究機関功績者表彰受賞

- ・「地域技術貢献賞」(電子・有機素材研究所所長 西本弘之)
- ・「研究奨励賞」(食品技術科 主任研究員 加藤愛)

(33) 競争的外部資金獲得の数値目標の達成状況

件数9件 (年度目標約2件 達成率450%)

① 新規事業 (2件)

1	美容・健康商品創出支援事業(予備試験) (鳥取県)	「きのこ類及びすいか由来の機能性素材開発」 (受託金額: 2, 000, 000円) ハタケシメジ、タモギタケ等から抽出した成分的な特性を把握し、美白作用等について細胞レベルで評価を行い、美容関連素材としての可能性を検討 代表的な市販品種や大山スイカ、野生スイカについて、部位別にシトルリン等の有効成分含有量を分析し、美容・健康素材としての原料適性を検討
2	美容・健康商品創出支援事業(本試験前期) (鳥取県)	「鳥取県産はとむぎを活用した美容・健康商品の開発」 (受託金額: 9, 000, 000円) はとむぎ(穀、薄皮、渋皮、子実)に含まれる有効成分含量の比較やはとむぎパウダー、はとむぎエキス等の素材の開発、動物細胞等による各種素材の有効性の評価、安全性の検討、各種素材中の成分の安定性を評価

② 継続事業 (7件)

1	新たな農林水産施策を推進する実用技術開発事業 (農林水産省)	「小型魚肉の高付加価値化をめざした電氣的処理・可食性接着剤による大型成型化」 (受託金額: 4, 900, 000円) 凍結状態の魚肉間に食塩を加えた可食性接着剤を挟み込み、ジュール加熱装置により選択的に通電発熱させることにより、魚肉を凍結状態のまま接着させることができる技術を開発(特許出願)。3月に企業向けに普及講習会を開催
2	新たな農林水産施策を推進する実用技術開発事業 (農林水産省)	「日本海で急増したサワラを有効利用するための技術開発」 (受託金額: 1, 400, 000円) サワラ魚体表面の微生物低減化技術、フィレー汚染微生物除去のためのおぶり(タタキ)処理、及び冷凍技術の確立により、衛生的で風味がよく、冷凍しても劣化の少ないサワラフィレーを開発。プロジェクト全体でサワラ加工マニュアルを作成して希望者に配布
3	戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省)	「長寿命・高効率照明用モジュール基板の開発」 (受託金額: 71, 610円) 放熱シミュレーションにより、ホーロー材料の放熱性能の解析を行った他、ホーロー材料に添加物を加えることにより基板の絶縁性能を向上
4	戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省)	「ウェアラブルコンピューティング技術による車載実装部品の装着自動検査研究開発」 (受託金額: 平成23は予算なし) 組み込み技術と情報ネットワーク技術を応用して、人への装着を可能にする統合連携検査管理システムを構築
5	戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省)	「プレス多層管体成型技術の開発」 (受託金額807, 345円) アルミ材の多層管体成型技術を確立するため、成型した管体の耐強度や形状評価及び成型の際に影響を及ぼす要因について測定・検証を行い、成型条件の確立に寄与
6	戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省)	「精密板鍛造の材料歩留まりと金型寿命及び金型部品品質向上による低コスト化技術の開発」 (受託金額: 2, 293, 830円) 金型の耐久性を高めるためのコーティング及び潤滑油の最適化技術を確立する。摩擦試験を行い、耐焼付性に優れる皮膜と潤滑油の組み合わせ

		せを選定。試験用金型を製作し、実証試験により確認
7	戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省)	「次世代トランスミッション用歯車硬化層の精密制御と量産技術に関する研究」 (受託金額：1,677,060円) SUJ2高周波焼入れ硬化層の硬度分布に及ぼす材質及び加熱・冷却速度の影響を把握した。実機シャフト試験片のねじり疲労試験を行い、疲労寿命に及ぼす硬化層深さの影響を把握

③ その他

1	太陽光発電関連産業事業化支援事業(鳥取県)	(受託金額：5,696,000円(決算5,620,306円)) 太陽光発電関連産業分野における企業の事業化支援、技術相談、技術開発、人材育成等を実施
2	電気自動車関連産業事業化支援事業(鳥取県)	(受託金額：5,696,000円(決算5,514,522円)) エコカー関連産業に係る県内企業の技術ニーズの把握、研究開発補助、技術支援、普及講習会等を実施
3	自動車分解解体研修支援事業(鳥取県)	(受託金額：7,122,000円(決算6,333,860円)) 自動車分解解体研修の支援と、分解後の部品展示説明と講習会を開催
4	次世代電気自動車研究開発成果普及事業(鳥取県)	(受託金額：1,515,000円(決算1,394,122円)) 次世代電気自動車の研究開発に参画している研究員から試作1号機の改善に係る情報収集と整理及び自動車関連部品等の評価試験を実施
5	鳥取県次世代電気自動車共同研究事業(鳥取県)	(受託金額：633,000円(決算464,030円)) 県次世代電気自動車共同研究事業に参画し、電気自動車の第1号先行開発事業に係る研究開発を実施
6	平成23年度地域企業立地促進等事業費補助金(経済産業省)	(交付金額：8,916,122円) LED照明製品開発に必要な要素技術に係る技術講習会、技術実習を行い、中国地域のLED関連技術者を育成 (成長産業人材養成等支援事業)
7	平成23年度地域企業立地促進等共用施設整備費補助金事業(経済産業省)	(交付金額：34,507,200円) 今後成長が見込まれるLED関連分野の産業集積をターゲットとし、LED評価装置導入により、LED関連分野に携わる技術者の養成及び製品開発技術支援を実施 「LED近傍配光測定装置」、「LED温湿度環境試験装置」 「LED遠方配光測定装置」、「LED熱分布測定装置」 「LED衝撃解析装置」
8	自転車等機械工業振興事業補助金((財)JK A)	(交付金額：27,888,000円) 地域の機械工業と中小機械工業の事業展開の促進のための機器等の整備を実施 「非接触三次元デジタイザー」、「表面加飾作製装置」

④ 食の安全・安心ワンストップ相談窓口

1	食の安全・安心プロジェクト事業(鳥取県)	(受託金額：10,598,000円(決算7,266,702円)) 認証取得への相談や衛生管理対策で困っている事業者に対する相談・指導体制を構築するため、「安全・安心対応専門員2名」を配置し、ワンストップ相談窓口を設置
---	----------------------	---

⑤ 新規事業獲得への取組

競争的外部資金等への申請	・研究成果最適展開支援プログラム(JST)への提案(8月、機械素材研究所) ・戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)(経済産業省)への提案(8月、機械素材研究所)
--------------	---

状況	<ul style="list-style-type: none"> ・経産省イノベーション拠点立地支援事業(先端技術実証・評価設備整備費等補助金)への提案(9月、電子・有機素材研究所) ・科学研究費助成事業への申請(若手研究(B))(11月、食品開発研究所2テーマ) ・科学研究費助成事業への申請(基盤研究(B)、(C))(11月、食品開発研究所1テーマ、機械素材研究所1テーマ) ・平成23年度第3次補正 戦略的基盤技術高度化支援事業へ2テーマ提案(12月、機械素材研究所) ・美容・健康商品創出支援事業(本試験)の受託に向けて、ハトムギを活用した美容健康素材の開発について、新事業開拓室、鳥取大学と協議(3月契約、食品開発研究所) ・カニ・エビの黒変防止についての検討会(東京海洋大学、愛媛大学、鳥取県水産試験場 7月、食品開発研究所) ・科学研究費助成事業への申請について、水産総合研究センター中央水産研究所に「冷凍技術」に関する提案の可能性を打診(11月、食品開発研究所) ・鳥取県、島根県、兵庫県の水産関係で地域連携に関する提案テーマについての協議(11月、食品開発研究所) ・産業技術連携推進会議研究連携支援事業「革新的耐食・耐摩耗性コーティング技術開発」第2回会議に出席、次世代燃料電池セパレーター部材開発に関するサポイン提案に向けた協議(2月、機械素材研究所)
----	--

(34) 自己収入の確保状況

開放機器使用料の収入状況	実績：29,575時間(3,222件) 使用料額17,594千円														
依頼試験手数料の収入状況	実績：1,471件 手数料額5,496千円														
起業化支援室使用料の収入状況	使用料額5,254千円														
試験機器・施設の開放等に係る取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の新規導入等により開放機器メニュー、依頼試験メニューを増加するなど事業サービスを向上 ・企業訪問時に開放機器メニュー等の紹介、説明を行うなど、センター利用の増加、事業収入の確保に努力 														
利用者負担に配慮した機器・施設利用料金の設定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・機器利用料金の後納による利用者負担の低減 ・企業からの要望に応えた機器利用料の後納や現金出納などの制度を引続き実施 ・入居企業(グローバルコンベンション)が企業化するに当たり、施設内空きスペースを貸し出し(機械素材研究所)(185.7 m²、92,850円/月) 														
特許実施料収入の状況	<table> <tr> <td>平成23年度の特許実施料収入</td> <td>合計68,020円</td> </tr> <tr> <td>(内訳)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・遠隔教育コミュニケーションシステム(特願2003-313253)</td> <td>10,500円</td> </tr> <tr> <td>・印鑑(特許4620958)</td> <td>21,629円</td> </tr> <tr> <td>・和紙成形体の製造方法及び和紙成形体の製造装置(特許4501129)</td> <td>33,454円</td> </tr> <tr> <td>・濃縮液抽出方法(特許4081514)</td> <td>564円</td> </tr> <tr> <td>・あぶらとり紙(特許4415168)</td> <td>1,873円</td> </tr> </table>	平成23年度の特許実施料収入	合計68,020円	(内訳)		・遠隔教育コミュニケーションシステム(特願2003-313253)	10,500円	・印鑑(特許4620958)	21,629円	・和紙成形体の製造方法及び和紙成形体の製造装置(特許4501129)	33,454円	・濃縮液抽出方法(特許4081514)	564円	・あぶらとり紙(特許4415168)	1,873円
平成23年度の特許実施料収入	合計68,020円														
(内訳)															
・遠隔教育コミュニケーションシステム(特願2003-313253)	10,500円														
・印鑑(特許4620958)	21,629円														
・和紙成形体の製造方法及び和紙成形体の製造装置(特許4501129)	33,454円														
・濃縮液抽出方法(特許4081514)	564円														
・あぶらとり紙(特許4415168)	1,873円														

*実施料算定の対象期間 平成22年4月1日～平成23年3月31日

(35) 業務運営の効率化及び経費抑制の状況

事務処理の簡素化	<ul style="list-style-type: none"> ・センターネットワークにより、グループウェア、テレビ会議システム等を用いて、機器利用及び依頼試験の料金計算システムの運用や幹部会、センター内部委員会のテレビ会議での開催など、業務活動を効率化 ・事務の効率化、合理化、統一的な処理等を行うため、総務担当者連絡会を定期的に開催（5月、9月、12月、2月、3月） ・平成23年度より会計システムを更新し、保守管理経費を削減 削減額：4,638,900円（H22：7,788,900円→H23：3,150,000円） 新システム導入経費は7,854,000円
施設・スペース管理の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・「職員等の地方独立行政法人鳥取県産業技術センター施設敷地内駐車に関する取扱要領」を制定し、入居企業等も含めた敷地内の駐車管理を適正に行うこととした。（平成24年4月1日から施行） ・企画管理部長通知「鳥取県産業技術センターの財産使用許可の取扱いについて」を発し、会議室等の利用の適正化に取り組んだ。（平成24年4月1日から施行）
業務費の節減状況－光熱水費	<ul style="list-style-type: none"> ・科長経費の節減設定 ・廊下、トイレ及び外灯照明のLED化により電気代を削減（電子・有機素材研究所） ・玄関エントランス及び外灯照明のLED化（米子施設）、玄関エントランス照明のLED化（境港施設）の実施より電気代を削減 ・既存の空調設備を見直し、パッケージエアコンに機器更新することにより、電気代・保守費・修繕費を削減（電子・有機素材研究所） ・電気代・保守費の削減を図るため、各研究室にエアーを供給している特殊ガス設備の代替設備として個別コンプレッサーを整備（電子・有機素材研究所）
業務費の節減－施設・設備管理保守委託費	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の変動がない委託業務について、複数年契約にすることにより事務処理の軽減及び契約金額を削減

(36) 予算等の効率的、効果的な執行状況

① 予算（人件費の見積を含む）

（単位：千円）

区分	予算	決算	差額 (決算－予算)	摘要
収入				
運営費交付金	772,463	773,452	989	
施設設備整備費補助金	74,484	68,131	△6,353	
自己収入	59,732	84,351	24,619	
事業収入	19,581	31,191	11,610	
補助金等収入	10,389	12,916	2,527	
外部資金試験研究収入	26,962	34,254	7,292	
その他収入	2,800	5,990	3,190	
目的積立金取崩	77,658	13,944	△63,714	
収入計	984,337	939,878	△44,459	
支出				
業務費	608,225	553,576	△54,649	

研究開発等経費	149,523	115,484	△34,039
外部資金試験研究費	28,270	34,820	6,550
人件費	430,432	403,272	△27,160
一般管理費	216,291	195,153	△21,138
施設設備整備費	159,821	141,964	△17,857
支出計	984,337	890,693	△93,644
収入－支出	0	49,185	49,185

(注) 人件費のうち、一部の非常勤・臨時職員分については、研究開発等経費及び一般管理費に含む。

決算額と損益計算書計上額の差異について、研究開発等経費、一般管理費及び施設設備整備費の決算額と損益計算書の計上額との差の主な要因は、固定資産取得に係る支出である。

② 収支計画

(単位：千円)

区分	計画	実績	差額 (実績－計画)	摘要
費用の部				
経常費用	1,037,743	902,702	△135,041	
業務費	608,225	553,362	△54,863	
研究開発等経費	149,523	94,093	△55,430	
外部資金試験研究費	28,270	31,196	2,926	
人件費	430,432	428,073	△2,359	
一般管理費	241,144	201,797	△39,347	
減価償却費	188,374	147,543	△40,831	
臨時損失	0	1,694	1,694	
収入の部				
経常収益	960,085	962,839	2,754	
運営費交付金収益	721,979	722,554	575	
外部資金試験研究費収益	26,962	34,183	7,221	
補助金等収益	10,389	18,695	8,306	
事業収益	19,581	29,922	10,341	
財務収益	0	82	82	
その他収益	2,800	4,886	2,086	
資産見返運営費交付金等戻入	40,025	30,356	△9,669	
資産見返物品受贈額戻入	46,598	48,152	1,554	
資産見返補助金等戻入	91,751	72,566	△19,185	
特許権仮勘定見返運営費交付金戻入	0	373	373	
特許権見返運営費交付金戻入	0	261	261	
特許権仮勘定見返受贈額戻入	0	146	146	
特許権見返受贈額戻入	0	207	207	
意匠権仮勘定見返運営費交付金戻入	0	456	456	
臨時利益	0	0	0	
経常利益	△77,658	60,137	137,795	
純利益	△77,658	58,443	136,101	
総利益	△77,658	58,443	136,101	

(注) 予算管理上、研究費と一般管理費に振り分けていた人件費を一括して計上している。

③ 資金計画

(単位：千円)

区分	計画	実績	差額 (実績－計画)	摘要
資金支出	984,337	1,174,157	189,820	
業務活動による支出	849,369	868,903	19,534	
投資活動による支出	134,968	121,490	△13,478	
翌年度への繰越金	0	183,764	183,764	
資金収入	984,337	1,174,157	189,820	
業務活動による収入	906,679	943,732	37,053	
運営費交付金による収入	772,463	773,452	989	
補助金による収入	84,873	79,688	△5,185	
外部資金試験研究における収入	26,962	55,089	28,127	
事業収入	19,581	22,307	2,726	
その他の収入	2,800	13,196	10,396	
定期預金の払戻しによる収入	0	100,000	100,000	
前年度からの繰越金	77,658	130,425	52,767	

(37) 財務内容の改善状況

会計基準に沿った財務処理の状況	・財務諸表作成マニュアルの作成
財務監査の実施状況	・監事監査 平成22年度期末監査（6月6日） 平成23年度期中監査（11月27日）

(38) 剰余金の取扱状況

計画	・決算において剰余金が発生した場合は、企業支援業務の充実強化及び組織運営、施設・機器の整備、改善に充当する。
実績	・第1期中期計画期間中に積み立てた人件費に係る交付金の剰余分（125,624,466円）を県に返還 ・企業支援充実強化及び組織運営・施設整備改善目的積立金に83,122,848円積み立て、内13,944,000円を「(財)JKA自転車等機械工業振興補助事業 公設工業試験研究所の設備拡充補助事業」に係る機器整備のセンター負担財源に充当

(39) 法令遵守の状況

法令の遵守状況	・業務運営面においては、関係法令及び法令に基づいて整備した規程の遵守、官公庁への届出、労働安全衛生法等に基づく職務環境の整備、業務執行上必要な従事職員の資格の取得 ・各職員においては、法令に反する行為がないよう徹底するため、職員の服務規律の確保について幹部会等で徹底を図るとともに職員へ通知 ・地方独立行政法人鳥取県産業技術センター規程の更新管理
---------	---

(40) 組織体制整備の状況

<p>法令遵守に関する組織体制の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生の遵守、セクシュアル・ハラスメントの防止、動物実験等の安全確保のための各種委員会により、法令遵守を徹底 ・人権問題部局の行う研修への参加 ・産業医を選任するとともに、安全衛生員会により職務環境の整備・改善を実施 ・動物実験委員会（動物実験を計画し、実施する際に遵守すべき事項を示し、科学的にはもとより、動物愛護の観点からその倫理性にも配慮した適正な実験の実施を図ることを目的）の開催（4/26）
------------------------	---

(41) 社会貢献活動等の状況

<p>職員の社会貢献意識の醸成、地域の奉仕活動などへの参加状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取砂丘除草ボランティア（7～9月）、白砂青松復活ボランティア（4月）への参加 ・西部総合事務所（維持管理課）からの要請に対応し、米子市内旧加茂川の清掃の一環として、繁茂する河藻を刈り取り、その後の処分方法として、肥料への転換・リサイクル可能性を検討。含有する無機成分、金属成分の調査を実施（6月） ・(株)エミネットより申し出のあった「天使のララ売上金による基金」での東日本大震災被災3県（岩手、宮城、福島）の産業復興のための義援金の受け入れ窓口等に関する連絡調整（6月） ・自然(森)を守る取り組みに対して、ブナの実の長期冷凍保管(5年間)を支援中(食品開発研究所冷凍保管庫(-20℃)) (サントリビジネスエキスパート(株)、江府町) (毎年一定量を取り出して播種、10月) ・「スペース・サイエンス・ワールド in とっとり」を鳥取県、岡山大学地球物質科学研究センターと主催した。(平成24年2月25日(土)、26日(日)) 宇宙探査機「はやぶさ」の成果を世界で初めて公開し2日間で1万5千人の来場者を集めた。
<p>一般公開の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・センター3研究所で夏休み期間中に小学生のためのこども科学教室を開催 「小中学生のためのオープンラボ」7/30 電子・有機素材研究所 (54名) 「小学生のためのこども科学教室」8/6 機械素材研究所 (44名) 「小学生のためのこども科学教室」7/30 食品開発研究所 (81名) ・鳥取東高等学校生の所内見学 10/13 電子・有機素材研究所 (42名) ・鳥取短期大学学生の所内見学 12/14 食品開発研究所 (18名) ・鳥取環境大学生の所内見学 12/19 電子・有機素材研究所 (30名)
<p>学協会等の委員等の就任状況と活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本農芸化学会中四国支部評議員就任(食品開発研究所1名) ・鳥取県溶接技術検定(5-7月、機械素材研究所1名) 検定者評価委員(ポリテクセンター米子8月、12月、3月、ポリテクセンター鳥取9月、2月) ・信頼性学会評議員、シンポジウム実行委員会委員(機械素材研究所1名) ・鳥取県溶接競技会審査(6-7月、機械素材研究所1名) 表彰式・壮行会審査員(8月、機械素材研究所1名) ・溶接競技会全国大会実行委員会(8-10月、機械素材研究所1名)「全体説明会」(8月)、「リハーサル」(9月)、「審査員」(10月)(三菱自動車水島製作所) ・第10回アジア・太平洋キッチン・キット学会(食品開発研究所1名)(会期:10/4-8) 鳥取地区実行委員、常設実行委員会 ・技能検定「電気めっき」の実技試験実施に検定委員、補佐員(7/30、機械素材研究所1名) ・基礎2級技能検定「パン製造」に検定員(8/10、食品開発研究所1名) ・平成23年度鳥取県職業能力開発協会会長表彰(技能検定事業に功労のあった者として顕彰)を授与(西本弘之)

(42) 情報管理の状況

法令等の規定を遵守した情報管理の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・幹部会において情報セキュリティに係る規定遵守を徹底（6月） ・センターは鳥取県情報公開条例及び鳥取県個人情報保護条例に規定する実施機関として、関係法令及び条例等に基づく情報の取り扱い、情報管理を徹底 ・情報セキュリティに係る規定遵守を職員へ周知 ・ホームページを通じて、センターの事業内容や組織運営状況について、業務実績報告書、財務諸表や研究活動等に係る規程を公開するなどの情報を提供
--------------------	--

(43) 情報漏洩防止対策の状況

情報漏洩防止対策の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・機械素材研究所、食品開発研究所においても電子・有機素材研究所に続き、PC管理をIPアドレスとMACアドレスの両方で管理し、不正アクセスをさせないネットワークシステムの実施を第1回情報ネットワーク委員会において報告(6/21) ・情報ネットワーク委員会にてUSBの使用禁止を徹底 ・ドメインサーバーの更新(10/28、食品開発研究所) ・電子情報の取り扱いについては、鳥取県情報システム管理要綱に準じた情報漏洩の防止を徹底、電子データによる情報漏洩の防止について注意喚起 ・鳥取施設の研究棟・実験棟への立ち入りについて、セキュリティ向上のため電気錠の設置を検討(平成24年度設置)
---------------	--

(44) 労働安全衛生の状況

安全で快適な試験研究環境の整備状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公務災害が1件(米子施設)、労働災害が1件(境港施設)発生。必要な手当を受け、法令に従い療養給付など行うとともに、職員全員に注意喚起を実施 ・シャッターの点検を行うとともに安全センサーの年1回の電池交換を実施(4月、電子・有機素材研究所) ・送風定温乾燥機に排気ダクトを設置し、室内に臭気が拡散するのを防止する対策を実施(5月、食品開発研究所) ・クレーンの年次点検実施(10月、電子・有機素材研究所) ・クレーンの年次点検実施(7月、機械素材研究所) ・作業環境測定第1回目(10月、食品開発研究所) ・作業環境測定第2回目(3月、食品開発研究所) ・産業振興機構合同避難訓練実施(10月、電子・有機素材研究所) ・避難訓練実施(3月、機械素材研究所、食品開発研究所)
安全衛生委員会等の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・産業医職場巡回対応(9/28, 2/15 電子・有機素材研究所、9/22, 2/27 機械素材研究所、9/22, 2/27 食品開発研究所) ・第1回安全衛生委員会(10/12) ・第2回安全衛生委員会(3/14) ・「粉じん障害防止のための労働衛生管理講習会」(12月、米子労働基準監督署) ・緊急事態対応テスト/ISO(3月、食品開発研究所)
労働安全衛生管理基準を満たした整備状況	<ul style="list-style-type: none"> ・第一種圧力容器(高圧蒸煮(レトルト)試験機)の性能検査実施(3月、食品開発研究所)
労働災害の状況	<p>① 発生日 平成23年10月25日 発生場所 食品開発研究所食の安全・安心相談室 傷病の具合 右寛骨臼骨折 休業期間 10月25日～11月30日</p> <p>② 発生日 平成23年12月16日</p>

発生場所	機械素材研究所材料分析室
傷病の具合	急性腰痛症
休業期間	12月16日～12月22日

(45) 安全教育の実施状況

安全教育、労働安全衛生に係る取組状況	<p>安全衛生委員会で業務に必要な資格を管理し、職員の人事異動等による有資格者の不在を防止</p> <p>実験室・試験装置、設備に対する安全性の確保と労働安全について全職員に周知し、注意を喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施 (10/19 鳥取、3/21 米子、3/19 境港) ・電気取扱業務 (低圧) 特別教育受講 (1月、4名) ・労働安全衛生推進者養成講習受講 (9月、1名) ・特定粉じん作業特別教育研修受講 (12月、1名)
--------------------	--

(46) 省エネルギー、リサイクルへの対応状況

照明のLED化による省エネルギー化	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下、トイレ及び外灯照明のLED化 (電子・有機素材研究所) ・玄関エントランス及び外灯照明のLED化 (機械素材研究所) ・玄関エントランス照明のLED化 (食品開発研究所)
ハイブリッド車	<ul style="list-style-type: none"> ・リース期間満了の公用車新規調達で、ハイブリッド車など環境性能に優れた車の選定、納入を実施 (平成24年度より配備)

(47) 環境マネジメントシステムの運用状況

研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・新規職員研修 (4月)、職員研修 (5月、8月)、緊急事態対応テスト実施 (3月) ・環境管理委員会の開催 (6月)、マネジメントレビューの実施 (7月) ・薬品管理手順書に基づき毒劇物保管ロッカー及び鍵の点検を実施 (9月) ・新規採用の技術スタッフに新規採用職員研修ならびに薬品取扱い研修実施
外部定期審査	<ul style="list-style-type: none"> ・受審 (9月) 及び登録継続 ・登録番号 03ER-375 ・審査登録機関 高圧ガス保安協会 (KHK) (東京都港区虎ノ門)

(48) 計画の策定状況及び実施状況

① 食品開発研究所 実験棟に関する耐震診断等

ア 耐震診断業務発注に至る経緯

(ア) 実験棟の老朽化

実験棟は、昭和53年に建設したもので、築後34年経過し雨漏りや腐食等が著しい状況にあり、ここ数年は修繕等を繰り返し行っている。特に、冷凍冷蔵庫は故障が頻繁に発生し、その都度の修繕費が増加する状況にある。

【参考：最近の冷凍冷蔵庫の修繕費調べ】

年度	修繕費 (円)	備考
平成22年度	1,009,395	圧縮機更新ほか11回修繕
平成23年度	1,226,253	ガス漏れ修理ほか9回修繕
計	2,235,648	

(イ) 耐震診断の実施

上記(ア)の状況を踏まえ、第一期中期計画「施設及び設備に関する計画：業務運営を適切かつ効率的に行うため、施設・設備の必要性及び老朽化等を考慮して、それらの

整備・改修を計画的に実施する。」に基づき、平成23年度当初予算に計上し実験棟の耐震診断を実施。

イ 耐震診断結果

平成23年度（6～11月）において、耐震診断（耐震診断基準に基づく第二次診断法）を行った結果は、下記のとおりである。

構造耐震指標（ I_s 値） $0.22 < I_s$ 値 0.3

※「建築物の耐震改修の促進に関する法律（耐震改修促進法）」の I_s 値評価

0.3未満：倒壊、又は崩壊する危険性が高い」に相当

参考：0.3以上 0.6未満：倒壊、又は崩壊する危険性がある。0.6以上：倒壊、又は崩壊する危険性が低い。

② 施設及び設備に関する改修等の実施状況

電子・有機素材研究所	・自動火災報知設備取替（5月）	525,000円
	・温水洗浄便座取付工事（7月）	746,571円
	・駐車場改修工事（7月）	172,200円
	・デバイス実験室空調設備取付工事（8月）	1,312,500円
	・応接室ドア設置工事（10月）	155,400円
	・機器分析室1・光計測室空調設備改修工事（11月）	4,368,000円
	・図書室内電気配線改修工事（11月）	661,500円
	・デザイン室・メディア実験室電灯改修工事（1月）	155,400円
	・デバイス実験室排気ファン取替（1月）	198,450円
	・デザイン室ドア設置工事（2月）	128,100円
	・駐車場拡張工事（2月）	1,470,000円
	・冷却水ポンプ修繕（2月）	124,950円
	・車庫等庇設置工事（3月）	298,200円
	・電気錠解錠システム設置（3月）	843,003円
	・街路灯LED取付工事（第1工区・第2工区）（3月）	1,239,210円
	・空調設備修繕 （光計測室、情報管理室、ACP2-7-1系統、 培養室、ACP2-5-1系統、暗室、AC-1-1系統、 電子顕微鏡室、理事長室、精密測定室、材料物性評価室2、 AC-3-2系統、生物材料実験室：20件）	1,570,118円
	・施設内直管型LED取付設置工事（第1・第2・第3・第5工区）	1,111,425円
	・コンプレッサー整備（特殊ガス設備代替用：5件）	1,748,244円
	・その他修繕等（17件）	845,457円
	機械素材研究所	・受水槽内パッキン劣化補修（5月）
・温水便座取付工事（8月）		588,000円
・ドラフトチャンバー修繕（9月）		568,050円
・自動扉開閉装置修理（9月）		546,000円
・法面災害土砂撤去、仮復旧工事（9月）		1,596,000円
・法面災害測量、調査業務（10月）		866,500円
・イオンプレーティング装置修繕（12月）		1,995,000円
・中央監視装置修繕（1月）		1,186,290円
・法面災害詳細設計委託（1月）		3,096,450円
・減圧脱水装置修繕（2月）		593,670円
・グロー放電発光分光分析装置修繕（2月）		609,900円
・ICP発光分光分析装置修繕（2月）		690,900円
・パッケージエアコン圧縮機交換（3月）		669,900円
・その他修繕等（40件）		15,654,179円

食品開発研究所	・冷凍施設修繕（4月外11件）	1,183,875円
	・実験棟、事務室扉取替ほか（4、5、2月）	506,000円
	・耐震診断委託（6月）	3,423,000円
	・安全キャビネットHEPAフィルター交換（1月）	729,750円
	・純水製造装置、赤外分光光度計アタッチメント取替ほか（2月）	687,645円
	・機能性分析装置修繕（2月）	670,551円
	・その他修繕等（35件）	3,801,906円

(49) 人材確保の状況及び配置の状況

① 研究職員の採用

採用日	分野	人数	配属先	備考
平成23年 4月1日	有機材料	1人	電子・有機素材研究所 有機材料科	任期付採用職員から
〃	高分子材料	1人	電子・有機素材研究所 有機材料科	
〃	産業デザイン	1人	電子・有機素材研究所 産業デザイン科	
〃	機械・電機	1人	機械素材研究所 無機材料科	
〃	応用生物化学	1人	食品開発研究所 食品技術科	

② 平成23年度研究職員採用試験の実施（第1回）

ア 募集分野及び採用予定者数及び主な業務内容

分野	採用 予定者数	主な業務内容
電子材料・電子 物性工学	1人程度	<ul style="list-style-type: none"> 電子機能性材料、電子デバイス材料などの電子材料開発技術等に関する研究開発や県内企業の製品開発などへの技術支援 電子デバイスの設計、開発、製造、評価等技術に関する研究開発や県内企業の製品開発などへの技術支援 本センター保有の研究機器を利用する企業に対する支援や依頼された試験・分析

イ 募集期間 2月22日（火）～4月25日（月）

ウ 合格・採用状況

分野	区分	応募者数	受験者数	合格者数	結果	備考
電子材料・電子 物性工学	第1次試験	15	10	3	採用辞退	
	第2次試験		2	1		

③ 平成23年度 研究職員採用試験の実施（第2回）

ア 募集分野及び採用予定者数及び主な業務内容

分野	人数	主な業務内容
電子材料・電子 物性工学	1人程度	<ul style="list-style-type: none"> 電子機能性材料、電子デバイス材料などの電子材料開発技術等に関する研究開発や県内企業の製品開発などへの技術支援 電子デバイスの設計、開発、製造、評価等に係る技術に関する研究開発や県内企業の製品開発などへの技術支援
電気電子シス テム	1人程度	<ul style="list-style-type: none"> 電気電子制御システム、電気電子計測システム、マイクロコンピュータ応用システム等の技術分野を主とした研究・技術開発や県内企業への技術指導、技術相談、機器開放、依頼試験等

金属等無機材料・環境リサイクル	1人程度	<ul style="list-style-type: none"> 金属やセラミックスなど無機材料の分析評価、製品応用に関する研究開発や県内企業への技術支援 金属やセラミックスなど無機材料のリサイクル技術、省資源・省エネルギーに貢献する材料開発、製品応用、生産技術に関する研究開発や県内企業への支援
食品科学	1人程度	<ul style="list-style-type: none"> 農畜水産物の加工食品開発や機能性成分に関する研究開発により、県内企業の製品開発などへの技術支援
合計	4人程度	

イ 募集期間 9月14日(水)～11月11日(金)

ウ 合格・採用状況

分野	区分	応募者数	受験者数	合格者数	結果	備考
電子材料・電子物性工学	第1次試験	7	7	1	採用辞退	
	第2次試験		1	1		
電気電子システム	第1次試験	9	7	2		
	第2次試験		2	0		
金属等無機材料・環境リサイクル	第1次試験	10	9	5		
	第2次試験		4	0		
食品科学	第1次試験	42	33	6	1名採用	合格者2には補欠合格者1名を含む
	第2次試験		6	2		

④ 平成24年度 研究職員採用試験の実施

ア 募集分野及び採用予定者数及び主な業務内容

分野	採用予定者数	主な業務内容
電気電子システム・電子材料・電子物性工学	2人程度	<ul style="list-style-type: none"> 電気電子制御システム、電気電子計測システム、マイクロコンピュータ応用システム等の技術分野を主とした研究・技術開発や県内企業への技術指導、技術相談、機器開放、依頼試験等の業務 電子機能性材料、電子デバイス材料などの電子材料開発技術等に関する研究開発や県内企業の製品開発などへの技術支援 電子デバイスの設計、開発、製造、評価等技術に関する研究開発や県内企業の製品開発などへの技術支援
高分子材料	1人程度	<ul style="list-style-type: none"> 機能性高分子やプラスチックなどの高分子材料に関する研究開発や関連する企業からの技術相談、機器利用、依頼試験などに対応し、県内企業への技術支援
産業デザイン	1人程度	<ul style="list-style-type: none"> グラフィック/情報デザインに関する研究開発や県内企業の製品開発などへの技術支援 県内企業等への企画・デザインに係る技術相談、技術指導、人材育成等の業務
機械工学	1人程度	<ul style="list-style-type: none"> メカトロニクス、システム制御技術等に関する研究開発や企業への技術支援 金属材料の物理試験や測定等により企業の製品開発等の技術支援
金属等無機材料・環境リサイクル	1人程度	<ul style="list-style-type: none"> 金属やセラミックスなど無機材料の分析評価、製品応用に関する研究開発や企業への技術支援 金属やセラミックスなど無機材料のリサイクル技術、省資源・省エネルギーに貢献する材料開発や製品応用に関する研究開発や企業への支援
食品科学・応用生物化学・応用微生物学	1人程度	<ul style="list-style-type: none"> 農畜水産物の食品工学や機能性成分などの視点に立った加工食品開発研究を行い、県内企業の製品開発などへの技術支援
合計	7人程度	

イ 募集期間 平成24年3月19日(月)～4月20日(月)

⑤ 食の安全・安心専門員

専門員2名を平成23年8月に採用し、食の安全・安心ワンストップ相談窓口を食品開発研究所に設置した。

鳥取県経済成長戦略における「食の安全・安心への対応による差別化対策」に基づき、認証取得や衛生管理対策への支援により、県外・国外への取引先・販売拡大を目指す目的で設置し、2名の専門員が食品の衛生管理や製造工程管理に関する関連企業からの相談やHACCP、ISO22000等の認証取得に関する相談対応、それらに関する現地技術指導や講演会、講習会などを実施した。